

平成版

# かごしまの国際交流



令和2年3月

鹿児島県

# 目 次

1	鹿児島国際交流の現況	1
2	県の国際交流事業	2
	（1）香港との交流	2
	（2）シンガポールとの交流	8
	（3）韓国全羅北道との交流	15
	（4）中国江蘇省との交流	21
	（5）中国・清華大学との交流	27
	（6）米国ジョージア州との交流	30
	（7）英国との交流	39
3	市町村の姉妹・友好都市提携状況	42
4	在留外国人数	47
	（1）地域・国籍別在留外国人数	47
	（2）在留外国人数の推移	48
	（3）都道府県別在留外国人数	48
	（4）鹿児島県及び全国の国籍別在留外国人数	49
5	外国青年招致事業（JETプログラム）による外国青年の配置状況	50
6	留学生の受入状況	51
	（1）国費・私費等別留学生数	51
	（2）国籍別・大学別留学生数	52
	（3）大学の国籍別外国人留学生数の推移	53
	（4）県費留学生の受入状況	55
7	海外技術研修員受入実績	56
8	鹿児島県からの青年海外協力隊員派遣状況	58
9	海外鹿児島県人会	59
10	（公財）鹿児島県国際交流協会	60
11	鹿児島県国際交流プラザ	71
12	アジア・太平洋農村研修村	72
	（1）アジア・太平洋農村研修村	72
	（2）アジア・太平洋農村研修センター	72

## 1 鹿児島県の国際交流の現況

鹿児島県は、日本の西南部に位置するという地理的条件から、歴史的に外国との交流の門戸として重要な役割を果たしてきた。

例えば、薩摩半島の南西端にある坊津は、8世紀に、唐の高僧・鑑真和上の上陸地となったほか、中国、東南アジア等との貿易、宗教・文化交流の起点として栄えた。

また、16世紀には、種子島に鉄砲が伝来し、鹿児島に上陸したフランシスコ・ザビエルによってキリスト教がもたらされるなど、鹿児島は、我が国が西洋文化に初めて出会った地である。

さらに、幕末には、薩摩藩は諸藩に先駆けて近代的工業群：集成館を造るなど近代化を進めるとともに、英国への留学生派遣やパリ万国博覧会への独自参加なども行っている。

これらの歴史の積み重ねは、本県に個性的な産業や生活文化を育てており、現在においても貴重な財産となっている。

県では、こうした地理的特性やこれまでの歴史的なつながり等を生かしながら、アジア地域を中心に様々な国際交流を行ってきている。

特に、香港、シンガポール、韓国全羅北道、中国江蘇省については、定期的な交流会議・交流協議会の開催やアジア3地域に設立した「アジアかごしまクラブ」を基軸に、経済、観光、芸術・文化、青少年等の様々な分野で交流を行っている。

また、中国・北京にある清華大学との間で、平成25年度に今後の双方の交流・協力を推進するために締結した包括協定（MOU）に基づき、青少年、学術、経済等の分野において交流事業を実施し、人材育成や人的ネットワークの構築を図っている。

さらに、平成30年7月に英国のロンドン・カムデン区及びマンチェスター市と友好協定を締結、令和元年8月には姉妹盟約を締結している米国のジョージア州と確認書を取り交わし、交流を促進することとしている。

さらに、海外技術研修員の受入れや留学生支援など、本県の特性を生かした国際協力も積極的に推進しているほか、市町村や民間国際交流団体等においてもアジア地域を中心に多様な交流・協力活動が活発に行われているとともに、県内各大学では留学生の受入れや学術交流などが行われている。

県では、今後とも市町村や民間国際交流団体、大学等とも連携し、アジア地域をはじめとして、これまでの交流を通じて形成してきた人的ネットワークや海外事務所等を活用し、産業振興にも資する国際交流を推進していくこととしている。



## 2 県の国際交流事業

### (1) 香港との交流

中国華南地域の中心であり、中国本土に向けた交流・交易の拠点的功能を担っている香港との間で、経済、観光、芸術・文化、青少年等の各般にわたる交流について協議するため、昭和55(1980)年に第1回鹿児島・香港交流会議を開催して以来、隔年ごとに交互の地で交流会議を開催している。

この交流会議を柱に、経済、観光、芸術・文化、青少年等、幅広い分野における相互交流が活発に展開されてきている。

また、昭和60年7月から香港に県の駐在員を設置しているほか、平成11年1月11日には、県人会関係者、交流会議関係者、日本語研修・からいも交流参加者等で構成される「香港かごしまクラブ」が香港で設立され、また平成14年9月7日には、鹿児島に「かごしま香港クラブ」が設立されている。

平成30年9月5日には、「第21回鹿児島・香港交流会議」が鹿児島で開催された。

鹿児島からは、知事、議長、鹿児島商工会議所特別相談役、鹿児島県商工会連合会会長、鹿児島経済同友会代表幹事等7人が出席し、香港からは、香港特別行政区政府民政事務局シニア・アドバイザー、香港総商会CEOなど香港特別行政区政府や関係団体から5人が出席した。会議においては、経済交流、観光交流、人的交流などの各分野での交流促進について意見交換が行われるとともに、今後の具体的な交流プログラム7項目について双方が合意した。

また、交流会議のほか、香港観光セミナー、香港ビジネスセミナーなどの関連事業が開催されたほか、知事主催レセプションを開催し、香港関係者をはじめとする招待者に対して本県製品のPRを行った。

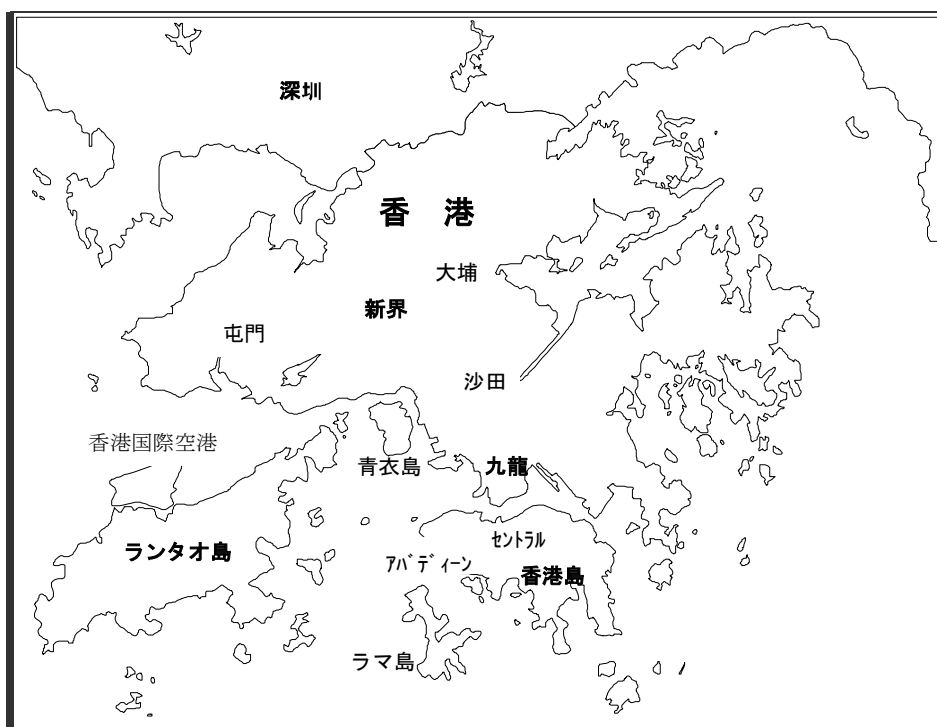
#### ※ 令和元年度主な交流実績

- ・ 霧島国際音楽祭への受講生(1名)受入れ
- ・ 鹿児島県青少年海外ふれあい事業における受入れ(11名)
- ・ 香港の学生らを対象とした日本語・日本文化研修の実施(香港中文大学20名、香港大学11名、香港城市大学専上学院10名)
- ・ 香港かごしまクラブによる「第14回かごしまアジア青少年芸術祭」への出演団体推薦
- ・ 「香港フードエキスポ2019」への出展 ※ただし香港の治安情勢悪化により県香港事務所のみ対応

#### ※ 平成30年度主な交流実績

- ・ 霧島国際音楽祭への受講生(2名)受入れ
- ・ 鹿児島県青少年海外ふれあい事業における派遣(15名)、受入れ(9名)
- ・ 香港の学生らを対象とした日本語・日本文化研修の実施(香港中文大学18名、香港大学18名、香港城市大学専上学院11名)
- ・ 香港かごしまクラブによる「第13回かごしまアジア青少年芸術祭」への出演団体推薦

- ・ 香港かごしまクラブの支援による本県大学学生の香港インターンシップ実施
- ・ 「香港フードエキスポ2018」への出展
- ・ 香港において「鹿児島焼酎トラム」の運行
- ・ 香港の日系レストランにて「鹿児島フェア」開催



## ① 香港の概要

面積：1,106 km<sup>2</sup>

人口：約734万人（2016年）

地勢・気候：香港島と、中国大陸につながる九龍半島および周辺の大小235の島から成る。  
気候は季節風のため変化に富み、4月中旬から9月は南風が吹き高温多湿、  
10月～3月には北風が吹く。初冬が最も快適である。

主要産業：金融業、不動産業、観光業、貿易業

域内総生産：約3,208億米ドル（2016年）

資料：外務省ホームページ「国・地域」

## ② 香港との交流状況

### ア 鹿児島・香港交流会議

- ・ 昭和54年11月 鹿児島・香港懇談会（鹿児島）
- ・ 昭和55年11月 第1回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・ 昭和56年11月 第2回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・ 昭和57年11月 第3回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・ 昭和59年10月 第4回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・ 昭和61年11月 第5回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・ 昭和63年9月 第6回鹿児島・香港交流会議（香港）

- ・平成2年11月 第7回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成4年11月 第8回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成6年10月 第9回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成8年9月 第10回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成10年9月 第11回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成12年10月 第12回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成14年9月 第13回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成16年11月 第14回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成18年10月 第15回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成20年9月 第16回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成22年8月 第17回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成24年10月 第18回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成26年10月 第19回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）
- ・平成28年10月 第20回鹿児島・香港交流会議（香港）
- ・平成30年9月 第21回鹿児島・香港交流会議（鹿児島）

#### イ 県職員の駐在

昭和60年7月から香港に駐在（ジェットロ香港センター）

#### ウ 経済交流

- (7) 商談会の開催（昭和57～59年度，昭和63年度～平成2年度，平成8，17，18年度，平成20年度～）
- (イ) 物産観光展の開催（昭和47年度～61年度までは1年おき，昭和63年度～平成15年度）
- (ウ) 香港トレードフェア出展（昭和58，60，62年度，平成元～4年度）
- (エ) 鹿児島フェア（平成19年度～）
- (オ) アンテナショップの設置（平成元年度～3年度）
- (カ) 輸出食品マーケティングプロモート事業（平成4，5年度）
- (キ) かごしまの農林水産物等海外イメージアップ事業（平成6～12年度）
- (ク) 鹿児島黒牛，黒豚の取引生産地交流会を鹿児島で開催（平成2，6，22，28年度）
- (ケ) 香港国際食品・飲料展（HOFEX）出展（平成11～17，27，29年度）※隔年実施
- (コ) フードエキスポ出展（平成24年度～）
- (サ) 香港インターナショナルワイン&スピリッツフェア（平成25～28年度）
- (シ) 香港総商会メンバー来訪，商談会開催（平成16年度）
- (ス) 本格焼酎商談会の開催（平成16年度）
- (セ) ポートセールス（平成12，17，20，23，24，25，26，28年度）
- (ソ) 知事トップセールスの実施（平成19，21，24，27，28，30年度）
- (タ) レストランフェア（平成21～平成30年度）
- ※ 令和元年度は新型コロナウイルス（COVID-19）流行により中止
- (チ) シェフ・バイヤー等招へい（平成21年度～）
- (ツ) 新聞・テレビ等広告宣伝（平成23，24年度）

## エ 観光交流

### (ア) 国際航空路線

- ・日本航空：昭和47年6月～（平成14年10月から運行休止）
- ・ドラゴン航空：昭和63年5月～（平成6年4月から運行休止）
- ・香港エクスプレス航空：平成20年4月～平成21年3月，平成28年7月～
- ・香港航空：平成26年3月～

### (イ) ITE（国際旅行博覧会）出展（昭和61年～平成28年）

### (ロ) 県観光連盟と香港観光協会（現政府観光局）との姉妹盟約（平成元年度）

### (ハ) モーニングスター・トラベリングライト出展（旅行展）（平成4年度～7年度）

### (ニ) 海外旅行業者等招待事業（昭和57年度，昭和62年度～平成5年度，平成7～13年度，平成15～17年度，平成19年度～）

### (ホ) 香港特別誘客キャンペーンの実施（平成7年度）

### (ヘ) 観光ミッションの派遣（平成10，12年度～）

### (ヘ) 香港政府観光局による香港観光PR

- ・おはらまつり（昭和63年～平成26年度）
- ・根占ドラゴンボート（平成4～14年度）
- ・市電広告（平成14年11月～平成15年1月）
- ・香港祭in 鹿児島（平成18，20年度）

### (ケ) 「日港交流年2005」への参加（平成17年度）

「2009日本香港観光交流年 香港セミナー」への参加（平成22年度）

### (コ) 香港チャイニーズ・ニュー・イヤーズ・ナイト・パレードへの「おぎおんさあ女神輿」の参加（平成22年度）

## オ 文化交流

### (ア) 鹿児島・香港芸術文化交流事業

- ・平成元年度 鹿児島県合唱連盟「めぐみコーラス」香港公演（毎年度，交互に開催）
- ・平成11年度「マーチングバンド」香港公演
- ・平成12年度「香港児童合唱団」鹿児島公演
- ・平成13年度「鹿児島高校音楽部」香港公演
- ・平成14年度「香港音楽事務所青年合唱団」鹿児島公演
- ・平成15年度「昌絃会（琴）」香港公演
- ・平成16年度「香港青年弦楽団」鹿児島公演
- ・平成18年度「松陽高校吹奏楽部」香港公演
- ・平成20年度「香港シンフォニックバンド」鹿児島公演
- ・平成22年度「知覧武双太鼓」香港公演
- ・平成24年度「チェンバー アンサンブル」鹿児島公演
- ・平成26年度「Prunus（プラナス）」香港公演
- ・平成28年度「Diocesan Girl's School Concert Band（ダイオセサン・ガールズ・スクール・コンサート・バンド）」鹿児島公演
- ・平成30年度「鹿児島大学学友会吹奏楽団」香港公演

### (イ) 鹿児島・香港美術品交換展事業（平成4～5年度）

### (ロ) 霧島国際音楽祭に講習生の受入れ（平成4年度～）

## カ スポーツ交流

- (7) 三国親善ユース大会（昭和59年度，61年度以降毎年開催，平成14年まで）
- (4) 鹿児島・香港スポーツ国際交流事業
  - ・ホッケー競技（昭和58年度（香港），昭和59年度（鹿児島））
  - ・バスケットボール競技（昭和60年度（香港），昭和61年度（鹿児島），平成13年度（香港），平成14年度（鹿児島））
  - ・サッカー競技（昭和63年度（香港））
  - ・水球競技（平成元年（香港），平成2年（鹿児島），平成20年度（香港），平成22年度（鹿児島））
  - ・剣道競技（平成3年（香港），平成4年（鹿児島））
  - ・バドミントン競技（平成5年（香港），平成6年（鹿児島））
  - ・卓球競技（平成7年（香港），平成8年（鹿児島））
  - ・テニス競技（平成9年度（香港），平成10年度（鹿児島））
  - ・柔道競技（平成11年度（香港），平成12年度（鹿児島））
  - ・ハンドボール競技（平成15年度（香港），平成16年度（鹿児島））
  - ・バレーボール競技（平成17年度（香港），平成18年度（鹿児島））

## キ 青少年・女性交流

- (7) 世界へはばたけ鹿児島の青年事業
  - ※ 平成14年度から「鹿児島県青少年海外ふれあい事業」に統合
    - ・平成2年度（23名），4年度（20名），6年度（20名），8年度（13名），10年度（16名），12年度（20名）に本県青少年を派遣
    - ・平成13年度（25名）に香港青少年を受入れ
- (4) 鹿児島県青少年海外ふれあい事業
  - ・本県青少年の派遣  
平成14年度（20名），16年度（20名），18年度（15名），20年度（15名），22年度（15名），24年度（15名），26年度（15名），28年度（15名），平成30年度（15名）
  - ・香港青少年の受入れ  
平成14年度（25名），15年度（25名），16年度（25名），18年度（15名），20年度（15名），22年度（15名），24年度（15名），25年度（15名），26年度（15名），27年度（15名），28年度（15名），29年度（15名），30年度（9名），令和元年度（11名）
- (5) 鹿児島県女性の翼（平成3，5，7，9年度）

## ク 香港かごしまクラブ（アジアかごしまクラブ）会員数：400名（令和元年5月現在）

- ・平成11年1月 設立総会・設立記念パーティー開催（場所：香港コンラッドホテル）
- ・平成16年2月 アジアかごしまクラブ交流会議（場所：鹿児島）
- ・平成18年11月 アジアかごしまクラブ交流セミナー（場所：全羅北道全州市）
- ・平成25年11月 アジアかごしまクラブ合同会議（場所：鹿児島）

## ケ その他の交流

- (7) 南大隅町（旧根占町）のドラゴンボート大会に香港チーム参加（平成元年度～）



- ※ 平成15年度はSARSの発生により双方の参加見合わせ。  
平成29年度は台風で大会中止。
- (イ) 日置市と香港の間で相互の砂像フェスティバルに参加（昭和60年度～）
  - ※ 平成21年度は新型インフルエンザ，平成22年度は口蹄疫発生のため中止。平成24年度は尖閣問題により派遣延期。平成26年，平成30年は台風のため中止。
- (ロ) 香港の大学生が「からいも交流・夏」に参加（平成3年度～）
  - ※ 平成14年度は韓国における口蹄疫の影響により中止，平成15年度はSARSの発生により中止，平成22年度は宮崎における口蹄疫の発生により中止）
- (ハ) 日本語・日本文化研修
  - ・香港大学，香港中文大学生がアジア・太平洋農村研修センターにおいて研修（平成7年～現在）
  - ・香港城市大学専上学院学生の研修（平成19年度～）
- (ニ) 鹿児島銀行による企業研修生受入れ（平成5年度～19年度）
- (ホ) 香港かごしまクラブ設立（平成11年1月）（会員数400名，令和元年5月現在）
- (ヘ) かごしま香港クラブ設立（平成14年9月）（会員数221名，平成31年2月現在）
- (ヘ) 鹿児島銀行香港駐在員事務所の設置（昭和61年から設置，平成19年5月末閉鎖）
- (ヘ) 南日本新聞香港支局の設置（平成3～16年度）
- (コ) 香港福祉フェア「シルバーヘア・マーケット・フェア」の開催（平成18年度）
- (ク) アジア青少年芸術祭（鹿児島市主催）への参加（平成18年度～）
  - ・平成18年度 香港チルドレン合唱団（15名）
  - ・平成19年度 香港香港新界婦孺福利会梁省徳学校中楽団（20名）
  - ・平成20年度 香港ユースハンドベルアンサンブル（17名）
  - ・平成21年度 香港ハーモニカミュージックセンターオーケストラ（24名）
  - ・平成22年度 香港ハーモニカミュージックセンターオーケストラ（16名）
  - ・平成23年度 Tom Lee Hong Kong Youth Neo Strings Orchestra（17名）
  - ・平成24年度 Parsons Wind Orchestra（27名）
  - ・平成25年度 Hong Kong Fingerstyle Guitar Orchestra（19名）
  - ・平成26年度 シャイン アフリカン ドラムチーム（20名）
  - ・平成27年度 香港撥弦中華楽団（12名）
  - ・平成28年度 香港青少年手鈴樂團（18名）
  - ・平成29年度 香港ハーモニカミュージックセンターオーケストラ（20名）
  - ・平成30年度 ウィンドパイプチャイニーズアンサンブル（8名）
- (ケ) 香港庇理羅士女子中学校（Belilious Public School）（22名）と鹿児島純心中学校との交流（平成19年度）
- (セ) 香港嶺南大学と鹿児島大学学生との意見交換（平成20年度）
- (セ) 南大隅町による香港国際ドラゴンボートカーニバル参加（平成23年度）
- (ソ) 鹿児島大学学生の香港企業におけるインターンシップ（平成27年度（6名），28年度（5名），平成29年度（6名），平成30年度（6名））
- (タ) 鹿児島国際大学学生の香港企業におけるインターンシップ（平成28年度（3名），平成29年度（3名），平成30年度（4名））
  - ※ (リ)，(ル)は，香港かごしまクラブが支援

## (2) シンガポールとの交流

アジアの貿易、金融の中心地として目覚ましい発展をとげているシンガポールとの間で、経済、観光、文化・スポーツ等各分野で本県との交流促進を図るため、昭和57（1982）年に第1回鹿児島・シンガポール交流会議を開催して以来、2年ごとに交互の地で交流会議を開催している。

この会議を柱に、経済・観光、芸術・文化、青少年など幅広い分野における交流が活発に展開されてきている。

また、平成11年1月13日には、人的ネットワークの形成を促進するために、リム・チン・ベン元駐日大使を名誉顧問とし、交流会議関係者、県人会関係者、留学生・技術研修生OB等で構成する「かごしまクラブシンガポール」が設立された。

令和2年1月16日には、「第20回鹿児島・シンガポール交流会議」がシンガポールにおいて開催された。鹿児島県から、知事、副議長、鹿児島商工会議所会頭、鹿児島県商工会連合会会長、鹿児島経済同友会代表幹事等8人が出席し、シンガポールからは、外務省国務大臣、貿易産業省北東アジア局次長、政府観光局旅行業界・新市場担当局長、文化振興局交流・国際局次長等8人が出席した。会議においては、経済交流、観光交流、人的交流などの各分野での交流促進について意見交換が行われるとともに、今後の具体的な交流プログラム8項目について双方が合意した。

また、会議開催に併せて、現地の日系量販店やレストランでの鹿児島フェア、BtoCの観光セミナーなどの関連事業が開催されたほか、現地関係者らを招待した知事主催レセプションを開催し、本県の農畜水産物や観光地の魅力について広くPRを行った。

令和3年度に、「第21回鹿児島・シンガポール交流会議」を鹿児島で開催予定。

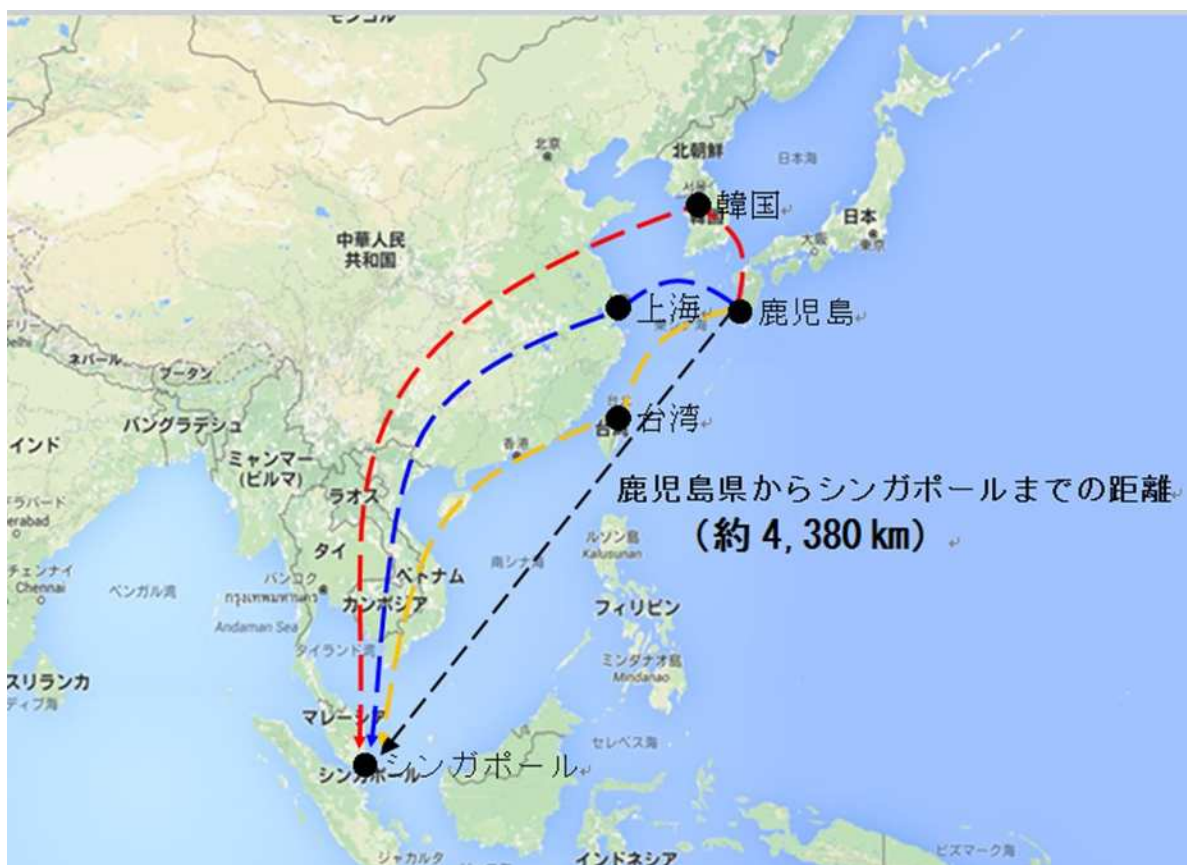
### ※ 令和元年度主な交流実績

- ・ 霧島国際音楽祭への受講生受入れ（2名）
- ・ シンガポール
- ・ シンガポールバイヤー招へいによる商談会及び産地視察
- ・ シンガポールにおける業務用食材に特化した食品商談会の実施
- ・ シンガポールの日系量販店での「鹿児島フェア」の開催
- ・ シンガポールのレストランにおける「鹿児島フェア」の開催
- ・ シンガポールにおける観光セミナーの開催
- ・ シンガポール旅行エージェント・メディアの招へい
- ・ かごしまクラブシンガポールによる「第14回かごしまアジア青少年芸術祭」への出演団体推薦

### ※ 平成30年度主な交流実績

- ・ 霧島国際音楽祭への受講生受入れ（2名）
- ・ シンガポールバイヤー招へいによる商談会及び産地視察
- ・ シンガポールにおける業務用食材に特化した食品商談会の実施
- ・ シンガポールの日系スーパーでの「鹿児島フェア」の開催

- ・ シンガポールにおける観光セミナーの開催
- ・ シンガポール旅行エージェント・メディアの招へい
- ・ かごしまクラブシンガポールによる「第13回かごしまアジア青少年芸術祭」への出演団体推薦



## ① シンガポールの概要

面積：約720 k m<sup>2</sup>

人口：約564万人（2019年6月）※ 外国人を含む。うちシンガポール人・永住者は399万人

地勢・気候：マレー半島の突端ジョホール水道を隔てたシンガポール島（東西42キロ，南北23キロ）と付属諸島から成る都市国家。海洋性気候で気温は年間ほぼ一定し日中平均気温は30.6℃，11～1月は雨が多い。

主要産業：製造業，商業，ビジネス・サービス，運輸・通信業，金融業

域内総生産：359,736百万USDル（2018年）

資料：外務省ホームページ「国・地域」

## ② シンガポールとの交流状況

### ア 鹿児島・シンガポール交流会議

- ・ 昭和57年10月 第1回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・ 昭和59年1月 第2回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・ 昭和60年11月 第3回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・ 昭和62年10月 第4回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）

- ・平成元年 9月 第5回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成3年 9月 第6回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成5年 9月 第7回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成7年 5月 第8回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成9年 6月 第9回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成11年 7月 第10回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成13年10月 第11回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成16年 1月 第12回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成17年10月 第13回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成20年 1月 第14回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成22年 1月 第15回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成24年 1月 第16回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成26年 1月 第17回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・平成28年 1月 第18回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）
- ・平成30年 1月 第19回鹿児島・シンガポール交流会議（鹿児島）
- ・令和2年 1月 第20回鹿児島・シンガポール交流会議（シンガポール）

## イ 商工・観光

### (7) 国際航空路線

日本航空：昭和55年4月～平成2年4月

#### (イ) 鹿児島県物産展（昭和56年度～平成7年度（1年おき））

※ 鹿児島でのシンガポールフェア（平成元，7年度）

#### (ウ) 国際旅行見本市参加（平成5～7年度（1年おき））

#### (エ) 商談会の開催（昭和60～62年度，平成19～21年度，平成23年度～令和元年度）

#### (オ) 技術交流会の開催（昭和62年度）

#### (カ) アンテナショップの設置（平成4年度）

#### (キ) 輸出食品マーケティングプロモート事業（平成5年度）

#### (ク) 鹿児島県農産物等海外イメージアップ事業（平成5～9年度）

#### (ケ) マスコミ相互派遣・受入れ（平成3年度～）

#### (コ) 鹿児島観光・フラワーパーク紹介展（平成11，15，19年度）

#### (サ) フLOWERパークかごしまとシンガポール植物園の交流（平成9年度～）

#### (シ) フLOWERパークにおけるシンガポール植物園展（平成9，13年度）

#### (ス) FHA（フード&ホテル・アジア）への出展（平成12，14，16，22，24，28年度）

#### (セ) シンガポール専門家相互派遣講座

- ・スパ産業セミナー（於：鹿児島）（平成18年10月）

- ・工業デザイン専門家によるシンガポール現地調査，企業等の訪問（平成20年1月）

- ・シンガポール日本食レストラン関係者による海外情報セミナー及び商談会の開催（平成20年10月）

#### (ソ) 百貨店・スーパーにおける試食・販売フェアの開催（平成22～令和元年度）

- (ク) シンガポール教育旅行セミナーの開催（平成24, 26年度, 平成29年度）
- (ケ) シンガポールインバウンドセミナーの開催（平成24, 25, 28年度）
- (コ) シンガポールのレストラン等における「鹿児島フェア」の開催（平成20～27年度, 平成29～令和元年度）
- (カ) 「シンガポールFoodExpo」出展（平成29年度, 地方自治体単位で出展するのは, 本県が日本全国で初）
- (キ) 旅行博「Travel Revolution」への出展（平成28年度）
- (ク) 旅行博「NATAS Holidays」への出展（平成29年度）
- (ケ) 旅行博「Japan Park」, 「NATAS TRAVEL」への出展（平成30年度）

## ウ スポーツ交流

- ・アーチェリー競技（平成2年度（シンガポール）, 平成3年度（鹿児島））
- ・ゲートボール競技（平成4年度（シンガポール）, 平成5年度（鹿児島））
- ・ソフトボール競技（平成6年度（シンガポール））
- ・バスケットボール競技（平成8年度（シンガポール）, 平成9年度（鹿児島））
- ・バドミントン競技（平成10年度（シンガポール）, 平成11年度（鹿児島））
- ・水球競技（平成12年度（シンガポール）, 平成13年度（鹿児島））
- ・サッカー競技（平成14年度（シンガポール））
- ※ 平成15年度はSARSの影響により中止
- ・フェンシング競技（平成16年度（シンガポール）, 平成17年度（鹿児島））
- ・柔道競技（平成18年度（シンガポール）, 平成20年度（鹿児島））

## エ 芸術・文化交流

- (7) 霧島国際音楽祭・講習会への講習生受入れ  
昭和63年度～令和元年度  
※ 平成15年度はSARSの影響により中止
- (イ) 舞台技術研修生の受入れ(文化センター)  
平成2～13年度（合計11名）, 平成16年度以降休止
- (ウ) チンゲイパレードへの芸能団派遣  
平成4年度 蒲生郷太鼓坊主グループ（15名）  
平成6年度 末吉鬼神”童”太鼓（23名）  
平成8年度 国際交流会”TEN”（20名）  
平成10年度 鹿児島女子大付属女子高校マーチングバンド（40名）  
平成12年度 霧島九面太鼓（25名）  
平成14年度 山田和子ジャズダンス（27名）  
平成16年度 神村学園鼓舞道部（28名）  
平成19年度 舞踊集団創エルグ（22名）  
平成23年度 ヤング踊り連Team 鹿女短（31名）  
平成27年度 霧島市立国分中央高等学校（31名）  
令和元年度 鹿児島国際大学よさこい部 創生児（16名）

(エ) 芸術文化団受入れ

- 平成5年度 ポルトガル広場への中国歌劇団が参加  
平成7年度 シンガポール・ダンスカンパニーが県民文化祭参加  
平成9年度 シンガポール・ムリ・オーケストラが県民文化祭参加  
平成11年度 シンガポール・チャイニーズ・オーケストラが県民文化祭参加  
平成13年度 シンガポール・ムリ・オーケストラが県民文化祭参加  
平成15年度 PACTダンス・アンサンブル, シンガポール・インディアン・オーケストラ及び合唱団が県民文化祭参加  
平成17年度 Dance Ensemble Singaporeが松山町, 国分中央高校, 県高校音楽祭で公演  
平成21年度 仏・セン・ウインド・シンフォニーが県吹奏楽フェスティバル, 鹿屋女子高校で公演  
平成25年度 扶南・チャイニーズ・オーケストラが県民文化フェスタ参加  
平成29年度 ブラッデルハイツ・シンフォニー・オーケストラが県民文化フェスタ, れいめい高校で公演

(オ) シンガポールホビーフェアへの参加

- 平成7年度 伝統舞踊専門家等3名  
平成10年度 粘土細工工芸家2名  
平成12年度 料理専門家2名参加

オ 人材交流

(ア) 国際交流員の配置

平成15年度～(合計6名)

(イ) 海外技術研修生の受入れ

昭和57年度～平成7年度(合計11名)

(ウ) 自治体国際化協会シンガポール事務所への職員派遣

平成2年度～7年度, 平成10年度～(合計14名)

(エ) 県職員語学研修派遣(3か月間)

昭和63年度～平成12年度(合計12名)

(オ) 日本人学校への教職員派遣

昭和47年度～(合計12名)

(カ) 世界へはばたけ鹿児島青年事業

平成2年度(20名), 4年度(19名), 6年度(20名), 8年度(13名), 10年度(16名), 12年度(20名)に青少年を派遣

(キ) 鹿児島県青少年海外ふれあい事業

・青少年を派遣

平成14年度(20名), 16年度(20名), 18年度(15名), 20年度(15名), 22年度(15名), 24年度(15名), 26年度(15名), 29年度(12名), 元年度(10名)

・シンガポール青年を受入れ

平成15年度(11名), 17年度(13名), 19年度(15名), 21年度(12名), 23年度(8名), 25年度(5名), 27年度(6名), 29年度(7名), 元年度(7名)

- (ク) 女性の翼  
平成3, 5年度(合計2団31名)
- (ケ) 鹿児島・アジア祭21への招待  
平成11年度5名(アジアかごしまクラブメンバーを含む)
- (コ) 冒険交流の実施  
平成14年度(シンガポールの青年受入れ10名)  
※ 平成15年度はSARSの影響により中止
- (カ) シンガポール日本語スピーチコンテスト優勝者のホームステイ受入れ  
平成16~21年度(毎年度2名受入れ), 28年度~30年度(1名受入れ)  
※ 令和元年度は新型コロナウイルス(COVID-19)流行により中止

#### カ かごしまクラブシンガポール(アジアかごしまクラブ)

会員数: 127名(平成30年5月現在)

- ・平成11年1月 設立総会・設立記念パーティー開催(場所: シンガポールインターコンチネンタルホテル)
- ・平成16年2月 アジアかごしまクラブ交流会議(場所: 鹿児島)
- ・平成18年11月 アジアかごしまクラブ交流セミナー(場所: 全羅北道全州市)
- ・平成25年11月 アジアかごしまクラブ合同会議(場所: 鹿児島)

#### キ その他の交流

- (ア) 鹿児島純心女子短大が海外視察研修に学生を派遣(昭和63年~)
- (イ) ザ・リズン・クライスト協会合唱団コンサート  
平成4年6月(場所: 鹿児島純心女子短大)
- (ウ) 鹿児島聾学校生がシンガポールへ修学旅行, シンガポール聾学校と交流  
平成10年度(16名), 平成12年度(10名)
- (エ) アジア青少年芸術祭(鹿児島市主催)への参加(平成18年~)
  - ・平成18年度 セント・アンドリュース小学校 ザ・シンギング・セインツ(37名)
  - ・平成19年度 ジュロン小学校合唱団(37名)
  - ・平成20年度 ウッドランズ小学校(28名)
  - ・平成21年度 セント・ジョゼフ・コンベントウ(33名)
  - ・平成22年度 セント・アンドリュース小学校聖歌隊(34名)
  - ・平成23年度 ノース・ビスタ・コラル(27名)
  - ・平成24年度 ザ・シンギング・セインツ(32名)
  - ・平成25年度 クライストチャーチ セカンダリースクール合唱団(25名)
  - ・平成26年度 ザ・シンギング セインツ少年合唱団(26名)
  - ・平成27年度 聖ヨゼフ女子修道学園合唱団(25名)
  - ・平成28年度 ザ・シンギング・セインツ少年合唱団(38名)
  - ・平成29年度 ジョディー・マーシャル ダンスカンパニー(21名)
  - ・平成30年度 マック音楽学校室内オーケストラ(19名)
  - ・令和元年度 ジ・アンサンブル(20名)

(オ) シンガポールからの修学旅行受入れ

- 平成19年度 アンダーソン中学校（鹿児島第一中学校との交流）  
ジョンファ中学校（神村学園中等部との交流）
- 平成20年度 イーストビュー中学校（さつま町立鶴田中学校との交流）  
エバーグリーン中学校（錦江湾高校及び鹿児島情報高校との交流）  
アンダーソン中学校（鹿児島第一中学校との交流）  
ジョンファ中学校（武岡台高校との交流）
- 平成21年度 ブーンレイ中学校（出水市立荘中学校との交流）
- 平成22年度 Marsiling中学校  
Temasek中学校  
Paya Leber Methodist Girls School  
テマセクポリテクニク  
エバーグリーン中学校  
ラッフルズ中学校  
メソヂスト女子校  
アンダーソン中学校
- 平成23年度 ナンヤン・ポリテクニク
- 平成24年度 タンパニーズ・ジュニア・カレッジ  
ナンヤン・ポリテクニク

(カ) シンガポールの小学校教職員スタディツアーの受入れ

- 平成20年度 鹿児島市立山下小学校及び鹿児島市立田上小学校（教員13名受入れ）

(キ) 鹿児島県ASEANディレクターの設置

- 平成28年4月～（許原韶 ケナード氏）



### (3) 韓国全羅北道との交流

韓国全羅北道とは、平成元(1989)年10月に「友好協力の推進に関する共同宣言」に調印して以来、行政間交流をはじめ、青少年や女性団体による交流、文化交流等、活発な交流が展開されている。また、人的ネットワークの形成を促進するために、平成11年3月には、香港、シンガポールに続き、全羅北道に「全羅北道かごしまクラブ」を設立した。

平成6(1994)年5月には、「第1回鹿児島・全羅北道交流会議」を鹿児島で開催し、行政、観光、産業・経済、文化・スポーツの各分野別に協議を行うとともに、「友好協力の推進に関する共同宣言調印5周年に関する確認書」に調印した。

その後、交流会議を平成19年まで2年毎に相互の地で開催した。

また、平成21年11月には、これまでの交流関係を基盤として、今後の両県道の交流について、実務レベルで協議する「鹿児島県・全羅北道交流協議会」を鹿児島において開催し、芸術文化交流や青少年交流等について協議するとともに、交流協議会についても、以降、2年毎に交互の地で開催することとした。

平成29年11月13日には、「第5回鹿児島県・全羅北道交流協議会」が鹿児島で開催され、鹿児島県からはPR・観光戦略部長など9名が出席し、全羅北道からは対外協力局長など4名が出席した。交流協議会では、各交流事業について協議が行われ、これまで同様双方が協力して交流に取り組むことが確認された。

令和元年10月31日に、「鹿児島県・全羅北道交流30周年記念行事」及び「第6回鹿児島県・全羅北道交流協議会」を全羅北道で開催。

#### ※ 令和元年度交流実績

- ・ 鹿児島県・全羅北道交流30周年記念行事(副知事による全羅北道知事表敬訪問等)
- ・ 第6回鹿児島県・全羅北道交流協議会
- ・ 霧島国際音楽祭への受講生(1名)受入れ

#### ※ 平成30年度交流実績

- ・ 霧島国際音楽祭への受講生(1名)受入れ
- ・ 全羅北道道民安全室研修団(11名)受入れ
- ・ アジア・太平洋農村研修センターにおける日本語・日本文化研修生受入れ(全州大 学校・群山大学校9名)



## ① 全羅北道の概要

面積：8,069 k m<sup>2</sup>（全国の8.04%）

人口：1,864,791人（全国の3.6%）

道都：全州市

地勢・気候：韓国の南西部に位置する全羅北道は、河川と肥えた平野地帯が発達し、東は慶尚南道、南は全羅南道、北は忠清南道、西は黄海に面している。ソウルから道都・全州市まで特急列車で3時間半、高速バスで3時間ほどである。西海岸部のセマングム干拓総合開発により、朝鮮半島の対外貿易の中心地となるべく、事業を推進している。

歴史・風土：かつて、後期百済王朝がこの地方に都を置き、また、朝鮮王朝の発祥地でもあるため、歴史的遺産が多い地域である。この地方は、伝統的韓国料理の里としても有名である。

行政地区：6市8郡

産業構造：第1次産業（農林水産）8.6%

第2次産業（鉱業製造業）27.5%

第3次産業（建設業、サービス業等）63.9%

特産品：高敞の陶磁器、長水の石製品、南原の木器、全州の韓紙、竹扇、淳昌のコチュジャン（辛子味噌）は典型的な地元の特産品である。

資料：全羅北道ホームページより

## ② 全羅北道との交流状況

### ア 鹿児島・全羅北道交流会議

- ・平成6年5月 第1回鹿児島・全羅北道交流会議（鹿児島）
- ・平成7年10月 第2回鹿児島・全羅北道交流会議（全羅北道）
- ・平成9年10月 第3回鹿児島・全羅北道交流会議（鹿児島）
- ・平成11年9月 第4回鹿児島・全羅北道交流会議（全羅北道）
- ・平成13年9月 第5回鹿児島・全羅北道交流会議（鹿児島）
- ・平成15年9月 第6回鹿児島・全羅北道交流会議（全羅北道）
- ・平成17年11月 第7回鹿児島・全羅北道交流会議（鹿児島）
- ・平成19年8月 第8回鹿児島・全羅北道交流会議（全羅北道）

### イ 鹿児島・全羅北道交流協議会

- ・平成21年11月 第1回鹿児島・全羅北道交流協議会（鹿児島）
- ・平成23年8月 第2回鹿児島・全羅北道交流協議会（全羅北道）
- ・平成25年11月 第3回鹿児島・全羅北道交流協議会（鹿児島）
- ・平成27年8月 第4回鹿児島・全羅北道交流協議会（全羅北道）
- ・平成29年11月 第5回鹿児島・全羅北道交流協議会（鹿児島）
- ・令和元年10月 第6回鹿児島・全羅北道交流協議会（全羅北道）

（鹿児島県・全羅北道交流30周年記念行事（副知事による全羅北道知事表敬訪問等）を同日開催）

## ウ 商工・観光

### (7) 観光展

- ・全羅北道での開催（平成7, 11, 15, 19, 23年度）
- ・鹿児島での開催（平成6, 9, 13, 21年度）

## エ 芸術・文化交流

- (7) 鹿児島・全羅北道芸術文化交流（平成6年度～）
- (イ) 霧島国際音楽祭講習生受入れ（平成7年度～）

## オ 人材交流等

- (7) 国際交流員配置（平成6年度～）
- (イ) 青少年団体交流（平成7～25年度）
- (ウ) 日本語・日本文化研修の研修生受入れ（アジア・太平洋農村研修センター）（平成7年度～）
- (エ) 薩摩焼発祥400周年事業（平成10年度）
- (オ) 保健及び環境分野の技術研修（平成12～18年度）
- (カ) 両道県議会の相互交流（平成13年度～）  
※ 平成20～24年度は休止, 平成25年度から再開

## カ 全羅北道かごしまクラブ（アジアかごしまクラブ）会員数：213人（令和元年5月現在）

- ・平成11年3月 設立
- ・平成16年2月 アジアかごしまクラブ交流会議（鹿児島）
- ・平成18年11月 アジアかごしまクラブ交流セミナー（全羅北道）
- ・平成19年11月 全羅北道かごしまクラブ訪問団知事表敬訪問
- ・平成20年度 全羅北道かごしまクラブ訪問団意見交換会
- ・平成23年度 全羅北道かごしまクラブ訪問団意見交換会
- ・平成24年度 全羅北道かごしまクラブ訪問団意見交換会
- ・平成25年11月 アジアかごしまクラブ合同会議（鹿児島）
- ・平成27年度 全羅北道かごしまクラブ訪問団意見交換会
- ・平成28年11月 全羅北道かごしまクラブ訪問団知事表敬訪問
- ・平成30年度 全羅北道かごしまクラブ訪問団意見交換会
- ・令和元年10月 全羅北道かごしまクラブとの昼食懇談会（副知事・全羅北道）

## キ その他

### (7) 交流の宣言等

- ・「友好協力の推進に関する共同宣言」調印（平成元年10月30日）
- ・「友好協力の推進に関する共同宣言調印5年に関する確認書」（平成6年5月）
- ・「友好協力の推進に関する共同宣言10周年に当たる相互協力確認書」調印（平成11年9月7日）（10周年記念行事の開催）

- ・両道県議会の「交流協力に関する合意書」調印（平成13年6月5日）
- (イ) 市町村の交流
  - ・鹿児島市  
かごしまアジア青少年芸術祭受入れ（平成19年度～）
  - ・鹿屋市(旧串良町)  
旧串良町3小学校と全州北一(ブクイル)初等学校との友好親善交流（平成5年度～）
  - ・日置市  
南原(ナムウオン)市と文化交流協約を締結（平成20年5月1日）
- (ウ) 民間の交流
  - ・南日本放送と全州文化放送との姉妹盟約（平成2年）  
※ 姉妹盟約20周年記念式典（平成22年10月）
  - ・アジア・太平洋農村研修センターで全羅北道の大学生が日本語研修（平成7年度～）
  - ・鹿児島・韓国全羅北道美術交流展の開催（平成8年度～, 日韓美術交流クラブ主催）
  - ・鹿児島空港ビルディング(株)が全羅北道から女性案内係員を招致（平成9年度～）
  - ・鹿児島県社会福祉協議会と全羅北道社会福祉協議会間の交流（平成12年度～, 姉妹盟約平成15年10月）
  - ・鹿児島商工会議所と全州商工会議所との姉妹盟約（平成14年10月）
  - ・(公財)鹿児島県国際交流協会主催による「韓国全羅北道文化探訪団派遣事業」の実施（平成21年度～）  
平成30年度訪問団体:鹿児島デザイン協会
  - ・鹿児島県弁護士会と全羅北道地方弁護士会との姉妹盟約（平成24年2月）
  - ・日本建築家協会九州支部鹿児島地域会と全羅北道建築士会との姉妹盟約（平成24年10月）
- (エ) 学校の交流
  - ・日置市立美山小が南原(ナムウオン)市蛟龍(キョロオン)初等学校と姉妹盟約締結（平成9年2月）
  - ・鹿児島大学が全北大学校と学術交流協定締結（平成9年4月）
  - ・鹿児島大学が群山大学校と学術交流協定締結（平成14年1月）
- (オ) 神村学園と湖南(ナム)第一高等学校相互訪問交流（平成20年9月/平成21年2月）

### ③ 全羅北道以外の韓国との交流状況

#### ア 県の交流

- (7) (一財)自治体国際化協会ソウル事務所に県職員を派遣（平成7年～）
- (イ) 韓日議員連盟21世紀委員会一行知事表敬（平成18年8月）
- (ウ) 韓国・全国市道議会議長会の鹿児島県議会視察受入れ（平成19年2月）
- (エ) 韓日議員連盟社会文化委員会一行知事表敬訪問（平成19年7月）
- (オ) 韓国地方自治団体国際化財団の公務員研修受入れ（平成20年6月）

#### イ 市町村の交流

- (7) 伊佐市

韓国慶尚南道(キョンサンナムド)南海(ナムヘ)郡との交流 (平成3年10月16日, 姉妹提携)

(イ) 霧島市

日韓親善子供大使友好の翼による韓国訪問 (釜山市培英(ペヨン)初等学校との交流  
(平成4年度～))

(ウ) 長島町

仁川広域市吉祥面(キルサンミョン)との交流 (平成6年5月30日, 姉妹提携)

(エ) 始良市 (旧蒲生町)

- ・ 日本一大楠どんと秋まつり (芸能団受入等, 平成6年度～)
- ・ ふれあう旅「韓国」 (青少年派遣, 平成9年度～)
- ・ 韓国桜フェスティバル事業 (青少年芸能団受入等, 平成27年度～)

(オ) 薩摩川内市

慶尚南道昌寧(チャンニョン)郡との交流 (平成24年5月16日, 友好都市盟約)

(カ) 出水市

全羅南道順天(スンチョン)市との交流 (平成24年11月13日, 姉妹提携)

## ウ 民間の交流

(ア) 鹿児島青年会議所が利川(イチョン)青年会議所と交流 (昭和54年9月)

(イ) 県内4ロータリークラブが韓国内ロータリークラブと姉妹盟約締結

- ・ 出水RC—大邱(テグ)東北RC (昭和55年7月)
- ・ 霧島西RC—釜山温泉RC (昭和59年10月)
- ・ 鹿児島西南RC—浦項(ポハ)RC (平成6年10月)
- ・ 鹿児島RC—セ・ソウルRC (平成16年3月)

(ウ) 指宿青年会議所—高陽(コヤン)青年会議所 (昭和60年10月)

(エ) 鹿児島県観光連盟が釜山広域市観光協会と姉妹盟約締結 (平成12年6月)

(オ) 鹿児島ライオンズクラブが鳳鳴(ポソニョン)ロータリークラブと姉妹盟約締結 (平成16年9月)

(カ) 鹿児島高牧カントリークラブ(蒲生町)が昆池岩(クンジアム)カントリークラブ(京畿道広州市)と姉妹盟約締結 (平成15年5月30日)

(キ) かごしま川内日韓親善協会の設立 (平成16年8月9日)

(ク) 鹿児島日韓親善協会の設立 (平成16年12月13日)

(ケ) 川内大綱引保存会が(慶尚南道昌寧郡)霊山大綱引保存会と姉妹盟約締結 (平成21年9月)

## エ 学校の交流

(ア) 鹿児島城西高校が宇信(ウシン)中高校と姉妹校盟約 (平成4年5月23日)

慶尚(キョンサン)高校と姉妹校盟約 (平成9年10月7日)

慶尚女子高校と姉妹校盟約 (平成9年10月7日)

(イ) 指宿商業高校が仁川市永化(ヨンファ)女子商業高校と姉妹校盟約 (平成4年9月7日)

(ウ) 鹿児島大学水産学部が釜慶(プギョ)大学と学術交流協定調印 (平成7年7月6日,  
平成12年5月22日大学間協定に改定)

- (エ) 指宿市立丹波小学校が高陽(コヤン)市の幸信(ヘンシン)小学校と姉妹校盟約（平成9年～）
- (オ) 鹿児島大学が済州(チェジュ)大学校と学術交流協定調印（平成10年1月30日）
- (カ) 鹿児島東高校が金海(キムヘ)伽耶(カヤ)高校(慶尚南道金海市)と姉妹校盟約（平成10年10月30日）
- (キ) 鹿屋体育大学が韓国国立体育大学校と交流協定調印（平成11年3月12日）
- (ク) 鹿児島高専が釜山情報大学と姉妹校盟約（平成11年12月23日）
- (ケ) 霧島市立(旧溝辺町)の3小学校(溝辺小, 竹子小, 陵南小)に, 釜山市の培英(ペヨン)初等学校が訪問し交流（平成12年～）
- (コ) 鹿児島大学が江陵(カンソン)大学校と学術交流協定調印（平成13年2月8日）
- (サ) 鹿児島大学が江原(カンウォン)大学校と学術交流協定調印（平成14年4月）
- (シ) 鹿児島大学が公州(コンジュ)大学校と学術交流協定調印（平成16年10月）
- (ス) 鹿児島大学が釜山大学校社会科学大学と部局間学術交流協定を締結（平成19年3月）
- (セ) 鹿児島大学が木浦(モッポ)大学校と学術交流協定締結（平成24年8月）
- (ソ) 鹿児島大学病院が中央(チュンアン)大学病院と学術交流協定締結（平成27年1月）

#### ④ 参考

##### ア 航空便就航の状況

平成2年5月 鹿児島～金浦国際空港直行便就航

※ 平成13年3月29日にソウル金浦国際空港から仁川国際空港へ移転

※ 大韓航空(KAL)週3便

(運休: 令和元年9月29日～11月16日, 令和2年1月1日～3月28日)

イースター航空(ESR)週3便

ティーウェイ航空(TWB)週3便(運休)

##### イ 経済等交流状況

- ・ 本県への韓国人宿泊者数 173,050人(平成30年暦年 観光庁宿泊旅行統計調査)

#### (4) 中国江蘇省との交流

地理的にも歴史的にも本県と関係が深く、将来にわたる経済発展が見込まれる中国との交流については、昭和60(1985)年の農業分野での技術交流を契機に、江蘇省との間で、海外技術研修員や国際交流員、各種訪問団の受入れのほか、青少年の派遣等、人材交流を中心に様々な分野における交流を行ってきた。

平成9年11月に知事が江蘇省を訪問した際、同省の省長と、県・省間の今後の交流のあり方について協議し、幅広い交流を促進することを目的とした交流協議会の設置について合意したことを受け、平成10(1998)年8月に総務部長を団長とする訪問団が江蘇省を訪問し、「鹿児島県・江蘇省交流協議会協定書」を締結するとともに、第1回鹿児島県・江蘇省交流協議会を開催した。以降、交流協議会を毎年、相互の地で交互に開催している。

なお、平成20年は交流協議会開始10周年という節目の年にあたったことから、今後の両省県の更なる交流促進を図るため、知事及び県議会議長等が江蘇省を訪問し、江蘇省長への表敬訪問を行ったほか「鹿児島県と江蘇省の友好交流の促進に関する協議書」を締結した。

平成30年度は、平成31年1月17日に、江蘇省において、第21回交流協議会を開催し、鹿児島からはPR・観光戦略部次長ら7人が出席、江蘇省からは外事弁公室アジア処副主任ら6人が出席した。行政、観光、青少年等の幅広い分野の交流について協議が行われ、令和元年度の交流プログラム11項目について双方が合意した。

#### ※ 令和元年度交流実績

- ・ 第22回鹿児島県・江蘇省交流協議会（書面開催）
- ・ 国際交流員の受入れ
- ・ 専門家の派遣
- ・ 海外技術研修員の受入れ
- ・ 県立短期大学と南京農業大学との交流
- ・ 江蘇省で開催される商談会等への出展 など

#### ※ 平成30年度交流実績

- ・ 第21回鹿児島県・江蘇省交流協議会
- ・ 国際交流員の受入れ
- ・ 専門家の派遣
- ・ 海外技術研修員の受入れ
- ・ 県立短期大学と南京農業大学との交流
- ・ 江蘇省で開催される商談会等への出展 など



① 江蘇省の概要

面積：107,200 k m<sup>2</sup>

人口：8,050.7万人（2018年末現在）

省都：南京市

地勢・気候：中国大陸の東部沿海地区に位置し、揚子江、淮河の下流、東は黄海西は安徽省に連なり、南は浙江省、北は山東省と境界を接する。

気候は亜熱帯から温帯に属している。平坦な地勢で平原が広く、湖や河川が交錯し、水路網が発達している。

産業構造：第1次産業 2.9%

第2次産業 44.3%

第3次産業 52.8%（2019年6月現在）

資料：江蘇省人民政府ホームページより

② 南京市の概要

面積：6,587 k m<sup>2</sup>

人口：843.62万人（2018年末現在）

気候：1月平均最低気温 2.7℃

7月平均最高気温 28.1℃

年間降水量 1,090.4mm

資料：南京市人民政府ホームページより

③ 中国江蘇省との交流状況

ア 県の交流

(7) 知事、省長等の訪問

平成6年10月の知事等（鹿児島商工会議所会頭、(社)鹿児島県工業倶楽部会長等が同行）の江蘇省訪問を皮切りに、両県・省間の相互訪問が始まり、これまでに、本県から合計で11訪問団が江蘇省を訪問、江蘇省からは合計8訪問団が来鹿した。

(1) 農業分野の交流

昭和60年度から、農業分野の試験研究機関等の関係者が相互に訪問し、農用物資、農業技術情報の交換等の交流を実施。（平成7年度：4名受入れ、平成8年度：3名派遣、平成9年度：4名受入れ、平成10年度：3名派遣、平成11年度：4名受入れ、平成12年度：3名派遣、平成13年度：6名受入れ、平成14年度から相互訪問は中止）

(ウ) 調査団等の派遣

平成9年2月の農政部技術次長を団長とする調査団派遣から、平成14年2月までに合計6調査団を派遣した。

(I) 鹿児島・江蘇省交流協議会

- ・平成10年8月 第1回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成12年2月 第2回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成13年1月 第3回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成14年2月 第4回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成14年12月 第5回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
- ・平成16年2月 第6回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
- ・平成17年1月 第7回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）



- ・平成18年2月 第8回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
  - ・平成19年2月 第9回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・平成20年2月 第10回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
  - ・平成20年10月 第11回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・平成22年1月 第12回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
  - ・平成23年1月 第13回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・平成23年9月 第14回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
  - ・平成25年2月 第15回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・平成26年3月 第16回鹿児島・江蘇省交流協議会（文書協議）
  - ・平成26年12月 第17回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・平成28年1月 第18回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
  - ・平成29年1月 第19回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・平成30年2月 第20回鹿児島・江蘇省交流協議会（鹿児島）
  - ・平成31年1月 第21回鹿児島・江蘇省交流協議会（江蘇省）
  - ・令和2年3月 第22回鹿児島・江蘇省交流協議会（文書協議）
- (オ) 視察団の受入れ
- ・平成6年7月の江蘇省外事弁公室副主任一行4名の出納長表敬訪問から、平成30年12月の江蘇省農業委員会5名の訪問まで、合計37視察団を受入れた。
- (カ) 鹿児島県中国商談会の南京市等での開催
- ・平成7年10月、南京市及び広州市
  - ・平成8年9月、南京市、香港及び上海市
- (キ) 江蘇省との青少年交流
- ・平成7年度の「鹿児島はばたけ青少年の船事業」から始まり、平成9年度からは「鹿児島県青少年海外ふれあい事業」、平成18年度からは「ユースウイングかごしま事業」として実施。平成25年度以降は、「環黄海青少年派遣事業」として実施している。
  - ・鹿児島の青年を中国（上海市、蘇州市）に派遣し、中国の実情の参観や中国の青年との交流等を行った（平成28年度までに、17団体・1,612人を派遣）。
- (ク) 海外技術研修員の受入れ
- ・昭和63年度から、中国の海外技術研修青年をほぼ毎年1名ずつ受入れており、特に平成3年度からは、江蘇省からほぼ毎年1名ずつ受入れている（令和元年度までに29名）。
- (ケ) 国際交流員の配置
- ・江蘇省から国際交流員を招致し、国際交流課に配置（令和元年度までに24名）。
- (コ) 自治体職員協力交流事業による省政府等職員の受入れ
- ・平成10年度 江蘇省人民政府職員（一般行政）9か月間
  - ・平成12年度 江蘇省徐州市職員（一般行政）9か月間
  - ・平成14年度 江蘇省国際交流センター職員（一般行政）9か月間
  - ・平成16年度 江蘇省常州市職員（一般行政）9か月間
- (サ) 鹿児島県・江蘇省スポーツ国際交流事業
- ・バレーボール競技（平成12年度（南京）、平成13年度（鹿児島））
  - ・バドミントン競技（平成14年度（南京）、平成15年度（鹿児島））
  - ・ソフトボール競技（平成16年度（南京）、平成17年度（鹿児島））
  - ※ 平成18年度から隔年実施
  - ・サッカー競技（平成19年度（南京）、平成21年度（鹿児島））
  - ※ 平成21年度から中止

(シ) 江蘇省への専門家派遣

平成12年12月から、江蘇省が希望する分野の専門家を派遣し、省開催のセミナーでの講演等を行っている。

【平成12年度：環境（大気）、平成13年度：環境（水質）、平成14年度：環境（廃棄物）、平成15年度：観光、平成16年度：環境（水質）、平成17年度：環境（ISO14001）、平成18年度：畜産、平成19年度：休止、平成20年度：医療、平成21年度：農産物加工・保存、平成22年度：精神保健福祉対策、平成23年度：幼稚園教育、平成24年度：休止、平成25年度：農業、平成26年度：土木、平成27年度：農業（果樹）平成28年度：精神保健福祉対策、平成29年度：観光、平成30年度：水産、令和元年度：林業】

(ス) 新県庁舎知事応接室に刺繍を展示

平成9年3月、蘇州市刺繍研究所製作の刺繍を新県庁舎知事応接室に展示。

※ 平成16年4月の県民交流センターの開館に伴い、現在は同センター1階に展示。

(セ) 中国語の研修

- ・平成9年度は、江蘇省に県職員を派遣し、南京師範大学において語学研修を実施（平成9年9月2日～12月22日までの約4か月間）。
- ・平成10年度は、江蘇省に県職員を派遣し、南京師範大学において語学研修を実施（平成10年9月1日～平成11年1月30日までの5か月間）。
- ・平成11年度から毎年（平成17～20年度は休止）、南京師範大学での語学研修及び江蘇省国際交流センターでの実務研修を実施（1年間）。

イ 市町村の交流（友好交流協定等）

- ・薩摩川内市－常熟市（平成3年7月）
- ・南さつま市－宿遷市（平成14年10月）
- ・湧水町－淮安市洪澤県（平成10年7月交流開始）

④ 中国江蘇省以外の中国地域との交流状況

ア 県の交流

(7) ジェトロ上海センターへの鹿児島県職員派遣

- ・平成8年度から上海ジェトロ事務所に鹿児島県職員を派遣し、研修実施
- ・平成9年7月に上海事務所を設置（ジェトロ上海センター内）。

(4) 社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所（鹿児島県上海事務所）を開設

- ・平成22年7月に社団法人鹿児島県特産品協会上海駐在事務所を開設し、鹿児島県職員を派遣。

(5) 大連・上海への志布志港ポートセールスミッション・観光ミッション・上海線要望の派遣

- ・平成11年8月、知事一行が大連・上海を訪問し、貿易促進交流会やポートセミナーを開催。知事はその後、江蘇省も訪問。
- ・平成13年10月、知事一行が東方航空チャーター便により大連・上海を訪問し、ポートセミナー、観光セミナーを開催するとともに、中国東方航空本社に対して上海線開設の要望を行った。
- ・平成14年10月、知事一行が上海を訪問し、ポートセミナーや観光物産展を開催。知事はその間、江蘇省も訪問。

(イ) 鹿児島・上海線関連の知事訪問

- ・平成14年8月, 平成15年9月, 知事一行が上海を訪問し, 鹿児島・上海線の利用促進や鹿児島と中国との観光交流促進について協力要請した。
- ・平成23年8月, 上海線増便を記念し, 知事等が上海を訪問。
- ・平成25年7月, 上海線路線維持要請のため, 知事等が上海を訪問。
- ・平成27年1月, 上海線の長期的・安定的運航要請のため, 知事等が上海を訪問。
- ・平成29年1月, 上海線の安定的運行及び拡充等要請のため, 知事等が上海を訪問。

(ロ) 上海でのアンテナショップの開催

- ・平成8年度から毎年, 上海第一八佰半で開催。
- ・平成11, 12, 13年度は, 上海第一八佰半で「鹿児島食品物産フェア」(かごしまイメージ定着化事業)を開催。(平成14年度は中止)
- ・平成14年度は, 上海第一八佰半で「上海航空路線開設記念物産展」を開催。

(ハ) 「ヤングネットワーク・ウイング九州」事業の実施

- ・本県の青年を九州7県の青年とともに参加させ, 中国, 韓国青年等との交流等を通じて国際的視野を広め, 国際平和, 友好親善等に資する。(昭和47～平成8年度までは「九州青年の船」事業として実施)
- ・平成17年度まで本県から約1,400名が参加。

(ニ) 海外旅行業者等招待事業の実施

- ・上海・広州等の訪日旅行を企画販売する旅行業者や旅行紹介記事を掲載するマスコミ記者等を本県に招請し, 本県観光地が入ったルートの商品化及び国際観光地としてのPRを促進する。(昭和56年度開始)
- ・中国からは, 平成11年度～平成17年度, 40団を招へい。以降, 平成17年度は15団471名, 平成18年度は10団560名, 平成19年度は17団175名, 平成20年度は20団324名, 平成21年度は12団82名, 平成22年度は11団134名, 平成23年度は32団429名, 平成24年度は23団217名, 平成25年度は23団284名, 平成26年度は17団体138名を招へい。

(ヒ) 華東交易会への出展

- ・平成18年3月に上海市で開催された総合見本市の華東輸出入商品交易会に県ブースを設置し, 県内企業4社が出展した。  
※ 平成20年度は県内企業3社, 平成21年度は県内企業が9社出展した。

(ヘ) 主な訪問団(江蘇省以外)の受入れ

- ・中国政府人事部(平成7年), 全人代常務委員会(平成14年), 上海市(平成9, 15年), 大連市(平成10, 13, 15年), 中華全国青年連合会等(平成14年), 中国国際交流協会(平成15年), 上海県人会会長及び上海国際貿易センター役員会(平成15年), 浙江省義烏市(平成16年), 上海市人民対外友好協会(平成16年), 中国人民対外友好協会(平成18年), 中国港灣協会(平成18年), 中国国務院発展研究中心(平成19年), 上海市奉賢区(平成20年), 浙江省副省長(平成22年), 上海市外事弁公室(平成23年), 中国国際交流協会(平成24年), 日中メディア交流訪問団(平成27年)の訪問団, JENESYS 2.0中国青年メディア関係者代表団の受入れ

イ 市町村の交流(友好交流協定等)

- ・鹿児島市－湖南省長沙市(昭和57年10月)
- ・薩摩川内市－上海市嘉定区馬陸鎮(平成7年8月)
- ・霧島市－陝西省耀州区(平成7年10月)
- ・霧島市－湖南省瀏陽市(平成19年10月)

- ・南大隅町－上海市奉賢区庄行鎮（平成20年1月）

#### ウ 民間の交流

鹿児島県日中友好協会、鹿児島市日中友好協会、中国同人館、奄美市日中友好協会、薩摩川内市日中友好協会、鹿児島県日中友好教職員の会、その他各市町国際交流協会等の民間レベルでも青少年交流や研修視察団派遣などの友好交流、植林活動、学校建設支援などの活動を行っている。

#### エ 大学間の交流

- ・鹿児島大学は、湘潭大学(湖南省湘潭市)など、16大学と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・鹿児島国際大学は、華東師範大学(上海市)及び大連外国語学院(遼寧省大連市)と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・鹿屋体育大学は、上海体育学院(上海市)、渤海大学(遼寧省錦州市)及び天津体育学院(天津市)と交流協定を締結し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・鹿児島県立短期大学は、南京農業大学国際教育学院(江蘇省南京市)と平成14年8月に「学術交流に関する合意書」に調印、平成17年9月に「交換留学協定書」に調印し、研究者交流、学生交流、資料の交換等を行っている。
- ・志學館大学は、長春師範学院(吉林省長春市)と平成21年9月に交流協定を締結し、学生交流等を行っている。
- ・鹿児島純心女子大学は、常熟理工学院(江蘇省常熟市)と平成23年10月に交流協定を締結し、学生交流等を行っている。

#### オ 高校の交流

- ・鹿児島東高校が、天津市の匯文中学(第34中学から校名変更)と平成10年10月に姉妹校盟約を締結、生徒間の訪問交流等を実施している。

#### カ 中国への修学旅行

- ・平成12年度は、合計18校(公立17、私立1)が実施。
- ・平成13年度は、合計2校(公立2)が実施。
- ・平成14年度は、合計6校(公立5)が実施。
- ・平成15年度は、実施校無し。(SARSの影響により中止又は行き先を変更)
- ・平成16年度は、合計3校(公立2)が実施。
- ・平成17年度は、合計3校(公立3)が実施。
- ・平成18年度は、合計3校(公立2)が実施。
- ・平成19年度は、合計3校(公立2)が実施。
- ・平成20年度は、公立1校が実施。
- ・平成21～22年度は、実施校無し。
- ・平成23年度は、私立1校が実施。
- ・平成24～30年度は、実施校無し。
- ・令和元年度は、私立1校が実施予定であったが、新型コロナウイルスの影響により中止。

## (5) 中国・清華大学との交流

本県と清華大学は、平成23(2011)年に学生交流等を通じて交流が始まり、平成24(2012)年には同大学の謝維和副学長が本県を訪問され、双方の交流を深めるため、知事の同大学訪問を提案された。

これを受け、平成25(2013)年8月29日に、知事や県議会議長をはじめ、県内経済界や大学の代表者等が清華大学を訪問し、今後の双方の総合的かつ持続的な交流を促進するため、知事と学長の署名により「鹿児島県と清華大学との包括交流に関する覚書(MOU)」を締結した(以下、「MOU」という。)。清華大学と海外の地方自治体によるMOU締結は、本県が初めてである。

このMOUに基づき、平成26年度以降、青少年・学術・経済などの分野において交流事業を実施し、双方の人材育成や人的ネットワークの構築を図っている。

### ① MOUの締結

ア 締結日 平成25年8月29日(木)

イ 場 所 清華大学(中国北京市)

ウ 出席者

#### 【鹿児島県側】

知事、県議会議長、鹿児島大学学長、鹿児島国際大学学長ほか11名

#### 【清華大学側】

清華大学校務委員会副主任(党委員会副書記)、同大学国際部副部長、同大学社会科学学院院務委员会主任、人文学院党委員会書記ほか13名

### エ MOUの内容

- 未来に向けて、清華大学と本県が共に手を携え、真の友情を構築するための人材と情報の交流を促進する
- 東アジアの繁栄に寄与するため、多様な分野における交流を促進し、双方の連携強化を深める
  - ・ 次世代を担う若者同士の交流
  - ・ 人材育成や学術・技術交流を促進するための人材交流
  - ・ 教育・産業分野における協力の促進、幅広い人的ネットワークの構築と連携強化

### ② MOUの更新

平成30年8月28日に1期目のMOUが期限を迎えたため、翌8月29日付けで同じ内容により更新を行った。

### ③ 清華大学の概要

中国国務院教育部直属の国家重点大学であり、北京大学と並ぶ中国のトップレベルの大学。20の学院（学部）と59の系（学科）を有する総合大学で、習近平国家主席、胡錦濤前国家主席など多数の政府要人を輩出している。

- ・所在地 中国北京市
- ・学 長 邱勇(きゅう ゆう)
- ・学生数 本科生 16,037人  
修士生 18,606人  
博士生 15,751人  
合 計 50,394人(うち留学生3,257人) 【2019年8月末現在】

(出所:清華大学ホームページ)

### ④ 清華大学との交流状況

#### ア 知事等の清華大学訪問

- ・ 知事, 県議会議長, 鹿児島大学学長, 鹿児島国際大学学長ほか11名  
(平成25年8月・MOU締結時)
- ・ 副知事 ほか1名(平成26年9月)
- ・ 副知事 ほか35名(平成28年1月・経済交流団の団長として)

#### イ 清華大学幹部の鹿児島訪問

- ・ 謝維和副学長 ほか5名(平成24年7月)
- ・ 顧秉林前学長, 朱赤副秘書長 ほか6名(平成25年12月)
- ・ 朱赤副秘書長 ほか13名(平成26年3月)
- ・ 顧秉林元学長 ほか17名(平成27年11月・経済交流団の団長として)

#### ウ 青少年学生交流

##### (ア) 清華大学への派遣

- ・ 大学生の語学留学  
平成26年度:3名, 平成27年度:10名, 平成28年度:10名, 平成29年度:10名,  
平成30年度:4名, 令和元年度:10名
- ・ 県内高校生, 教職員等の中国語研修  
平成26年度:8名, 平成27年度:13名, 平成28年度:13名, 平成29年度:13名,  
平成30年度:13名, 令和元年度:13名

##### (イ) 清華大学学生等の受入

- ・ 辛亥革命100周年「日中友好を語るシンポジウム」への出席  
平成23年11月, 学生9名を含む12名
- ・ 県内大学生との学生交流  
平成26年度:5名, 平成27年度:6名, 平成29年度:20名, 令和元年度:17名

## エ 学術交流

- (ア) 医療分野交流(受入)
  - ・ 清華大学医学院と県内医療関係者との交流  
平成27年2月, 清華大学医学院教授等5名
- (イ) 文化芸術交流(派遣, 受入)
  - ・ 清華大学美術学院と県内で文化芸術に携わる制作者や学生等の交流  
平成26年度:派遣7名, 平成27年度:受入5名, 平成28年度:派遣10名,  
平成29年度:受入10名, 平成30年度:派遣9名, 令和元年度:受入12名
- (ウ) 環境分野交流(派遣, 受入)
  - ・ 清華大学環境学院と県内環境分野の専門家等との交流  
平成27年度:派遣10名, 平成28年度:受入8名, 平成29年度:派遣11名  
平成30年度:受入9名, 令和元年度:派遣10名

## オ 経済交流

- ・ 県内若手経営者等の清華大学派遣  
平成26年度:44名, 平成27年度:36名, 平成28年度:32名, 平成29年度:28名
- ・ 清華大学関連企業家等の受入れ  
平成27年度:18名, 平成28年度:27名, 平成29年度:19名, 平成30年度:9名
- ・ 県内学校関係者等の派遣  
平成28年度:10名
- ・ 清華大学職員組合の受入れ  
平成28年度:3名, 平成29年度:4名

## カ その他の交流

- ・ 清華大学学生芸術団の国民文化祭「国際交流フェスティバル」参加  
平成27年11月, 受入19名
- ・ 清華大学主催農業国際フォーラムへの参加  
平成28年11月, 派遣3名
- ・ 清華大学等における短期講座「明治維新とアジア」の開催  
平成30年9月, 派遣4名
- ・ 鹿児島県と清華大学との包括協定締結5周年記念ANAシンポジウム「世界から見た明治維新」の開催  
平成30年11月, 受入4名

## (6) 米国ジョージア州との交流

米国ジョージア州とは、昭和41(1966)年に姉妹盟約を締結。

締結以降、親善使節団等の派遣、受入や青少年交流等が実施されるとともに、大学間やロータリークラブ間などで相互交流が行われてきている。

① 提携年月日：昭和41(1966)年11月28日（場所：ジョージア州庁）

### ② ジョージア州の概要

- ・ 面積：153,953平方キロメートル(当県の約17倍、日本の面積の約41%)
- ・ 人口：10,519千人(平成30(2018)年現在)
- ・ 州都：アトランタ
- ・ 知事：ブライアン・ケンプ(Brian Kemp, 共和党)
- ・ 議会：上院議員56名、下院議員180名
- ・ 州民総生産：4,190億ドル(平成23(2011)年現在) ※全米11位
- ・ 州民所得：36,104ドル(一人当たり)(平成23(2011)年現在) ※全米39位
- ・ 空港：ハーツフィールド・ジャクソン・アトランタ国際空港
- ・ 港：サバナ港、ブランズウィック港
- ・ 主要産業：製造業、農業、卸売・小売業、情報産業、金融・保険業、不動産業
- ・ 日本との時差：14時間(夏期13時間)
- ・ 飛行時間：日本→アトランタへ直行便で約12時間
- ・ 名所旧跡：ストーンマウンテン州立公園、ダロネガ黄金博物館  
マーティン・ルーサー・キング牧師記念地区、  
ケネソーマウンテン国立古戦場公園 等
- ・ 州木：ライブオーク
- ・ 州花：チェロキーローズ
- ・ 州歌：我が心のジョージア

### ③ 提携の経緯

- ・ 昭和38(1963)年10月、南日本新聞社の鮫島編集局長の渡米に際し、寺園勝志県知事がカール・サンダース州知事へのメッセージを託す。
- ・ 昭和40(1965)年10月25日、日米知事会議のため来日(来鹿)したサンダース知事、寺園知事及び鮫島氏との間で姉妹州県の盟約の意思確認がなされる。
- ・ 昭和41(1966)年6月、ジョージア州から姉妹盟約の宣言書が届く。
- ・ 昭和41(1966)年11月14日、鹿児島県側宣言書をサンダース知事宛に送付する。

### ④ 提携の理由

両県州は、ともに温暖な気候に恵まれ、農業を基盤にした産業の振興に力を注いでいる。観光の面においても、美しい豊かな自然を生かして発展しつつある。

また、歴史的に見ると、ジョージアはアメリカを本質的に統一国家とした大内乱(南北戦



争1861年～1865年)の中心となったところであり、鹿児島は明治維新(1868年)の原動力及び西南戦争(1877年)の中心地となったところである。

このように、両県州は気候・風土、産業、歴史等、多くの類似点を有していることから、相互の交流を深めることにより、産業、文化、教育等あらゆる分野でお互いの繁栄に役立つものと考え、姉妹州県盟約を締結するに至った。

## ⑤ 協定書

### 日本国鹿児島県とアメリカ合衆国ジョージア州との姉妹関係盟約に関する協定

日本国鹿児島県とアメリカ合衆国ジョージア州とは永久の友情のきずなを結ぶため、ここに姉妹関係を盟約する。

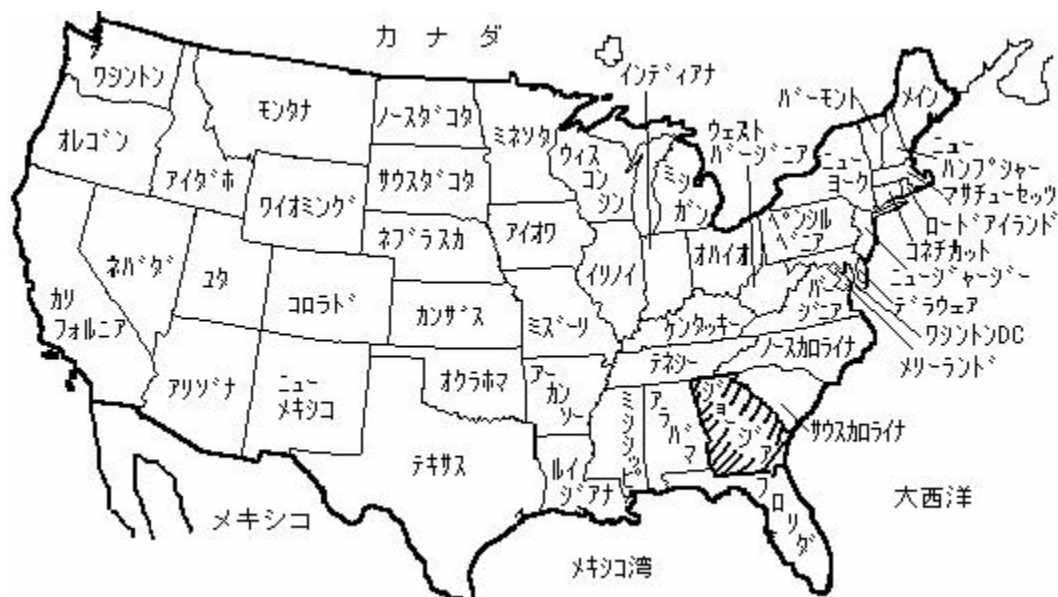
鹿児島県民とジョージア州民は、今後、産業・文化・教育等あらゆる分野において緊密な交流を図ることにより、国際理解と国際協力の精神をつちかい、友情を深めていきたいと思う。

この盟約は、鹿児島県とジョージア州を結ぶゆるぎない友情の掛け橋となり、相互の繁栄と幸福に寄与するものと確信する。

以上の合意を確認するため、昭和41年11月28日アメリカ合衆国ジョージア州アトランタ市において、この協定書に署名する。

鹿児島県知事 寺園 勝 志

ジョージア州知事 カール・E. サンダース



⑥ ジョージア州との主な交流状況

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
昭和 38.10. (1963)		鮫島氏(南日本新聞編集局長)渡米の際に知事メッセージをジョージア州知事へ
40.10.25 (1965)	◎日米知事会議の際に、州知事が来鹿、 県知事と姉妹盟約確認	
41. 5.	「ジョージア宣言」で姉妹盟約を宣言	
41. 7.		MBCが「派米高校生」を開始(昭和60年までに15名ずつ20団を派遣)
41.11.14		「鹿児島宣言」で姉妹盟約を宣言
41.11.28		◎親善使節団7名(団長:寺園勝志知事)が姉妹盟約締結のためジョージア州訪問
42. 5.26	親善使節団42名(団長:グレンシガーズ農務局次長)来鹿	
42.10. 7		北米産業視察団20名(団長:柴立議長)がジョージア州訪問
43. 7. 8		農政部長ジョージア州を訪問
44. 7. 5	ノースフルトン高校特別合唱団58名来鹿	
44.11. 3		◎金丸三郎知事夫妻ほか1名ジョージア州訪問
45. 5.25 (1970)	夫人グループ親善使節団30名(団長:アン・シガーズ)来鹿	
46. 5. 3	親善使節団18名(団長:トーマス・アーヴィン農務局長)来鹿	
48.10. 6	州地域開発局長ほか10名来鹿	
48.10.18	親善使節団40名(団長:グレンシガーズ農務局次長)来鹿	
49.10.21		親善使節団53名(団長:佐多議長, 副団長:山口副知事)ジョージア州訪問
50.10.23 (1975)	◎ジョージ・バスビー州知事ほか1名来鹿	
51. 7.26		◎親善使節団98名(団長:金丸三郎知事, MBCジュニアオーケストラ一行60名を含む)ジョージア州訪問
52.10. 8	◎ジョージ・バスビー州知事一行30名来鹿	
53. 8.29		◎親善使節団72名(団長:鎌田要人知事)ジョージア州訪問

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
昭和 54.11.29		鮫島氏(南日本新聞編集局長)渡米の際に知事 鹿児島大学・ジョージア州立大学農学部間教官 交流協定調印
54.12.25		鹿児島商工高校レスリングチームジョージア州訪 問
55. 9. (1980)		鹿児島大学・ジョージア州立大学農学部間教官 交流開始
56. 6.23	ジョージア州大学連合研修生7名来鹿	
56.11.13	◎ジョージ・バスビー州知事一行90名(姉妹 盟約15周年記念式典)来鹿	
57. 9.23	◎ジョージ・バスビー州知事一行5名来鹿	
58.10. 7	◎ジョー・フランク・ハリス州知事一行60名 来鹿	
61. 2.21 (1986)		アメリカ経済事情視察団アトランタ訪問(旭相互銀 行)
61. 7.21	アトランタ・ガールズ(サザン・ベル)一行12名 来鹿	
61.10. 8		◎親善使節団64名(団長:鎌田要人知事)が姉妹 盟約20周年記念式典参加のためジョージア州訪 問
62. 8.	アトランタ出身の国際交流員(アンドリュー・ ザトリン)着任	
62. 9.		バイオテクノロジー研究所室長がジョージア大学 農学部で研修
63. 7.11		アメリカ経済事情視察団アトランタ訪問(鹿児島銀 行)
平成 元.10.		林業試験場主任研究員が、ジョージア大学等で、 短期研修
2. 3. (1990)		ジョージアをテーマにした「英語のテキスト」を作 成(県総合教育センター)
2. 4.		ジョージア・プログラム(主催:鹿児島外語学院) で、4名がジョージアで研修
2. 7. 2	アトランタ文化交流グループ一行13名(教育 関係者)来鹿	
2. 7.		MBCがWXIA(テレビ)と姉妹盟約、H3.1～研修員 を派遣

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
2. 8.	林業試験場(ジョージア大学内)の研究者来鹿	
2.11. 1		「世界へはばたけ鹿児島県の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
3. 2.		鹿大国際交流委主幹松井教授が今後の打ち合わせのためジョージア大学訪問
3.10.		◎親善使節団67名(団長:土屋佳照知事)が姉妹盟約25周年記念式典参加のためジョージア州訪問
3.10.		「アンテナショップ」(流通対策課)をアトランタで開催
3.10.		「世界へはばたけ鹿児島県の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
4. 4.		県職員を研修のためジョージア大学と州農務省へ派遣(1年)
4. 8.		加治木高校教諭を日本語教師としてアトランタへ派遣(20か月)
4.11.		「世界へはばたけ鹿児島県の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
5. 4.		県職員を在アトランタ日本国総領事館へ派遣(H.7年4月まで)
5. 4.		県職員を研修のためジョージア大学と州農務省へ派遣(1年間)
5. 7. 6	サウスイースト(ダルトン市)高校生(10名, 引率1名)来鹿	
5.10. 6	ジョージア州カードーザ商務長官一行4名来鹿	
5.10.19		ジョージア州ジャパンフェスト'93に「火の島太鼓」(桜島町)を派遣
5.10.19		「世界へはばたけ鹿児島県の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
5.10.	ジョージア州商務省(東京事務所)中園代表補佐来鹿(外資系企業誘致)	
6. 3.20		鹿児島東高校生(10名, 引率1名)サウスイースト高校(ダルトン)訪問
6. 4.		県職員を研修のためジョージア大学へ派遣(1年間)

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
6. 4. 6	タワーズ(デカルブ郡)高校校長一行(生徒4名, 引率3名)来鹿	
6. 8.		志布志高校教諭を日本語教師としてアトランタへ派遣(20か月)
6. 8.15	ジョージア大学クービロン園芸学部長来鹿	
6.10. 9		須賀 龍郎副知事一行(3名)がカードーサ商務長官を表敬訪問
6.10.		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で, 10名が短期研修
7. 4. 5	タワーズ(デカルブ郡)高校一行(生徒4名, (1995) 引率3名)来鹿	県職員を研修のためジョージア大学へ派遣(1年間)
7. 5.	ジョージア大学農学部カネマス作物土壌科学学科長来鹿	
7. 9.16		ジョージア州ジャパンフェスト'95に「弥五郎太鼓」(大隅町)を派遣
7.10.31		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で, 10名が短期研修
7.12. 4	ジョージア州議会テイラー上院議員, ベイカー下院議員来鹿	
8. 4.		県職員を研修のためジョージア大学へ派遣(1年間)
8. 5. 1		白崎徹也総務部長一行(5名)が, ミラー・ジョージア州知事を表敬訪問
8. 8. 1		MBCジョージア州親善交流中高生26名が州政府を表敬訪問
8. 8.		指宿高校教諭を日本語教師としてアトランタへ派遣(20か月)
8. 9. 5	ジョージア大学農学部アイバソン助教授来鹿	
8. 9.26	ジョージア州商務省経済開発局石井課長来鹿	
8.10. 9		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で, 10名が短期研修
9. 7.15	ジョージア州商務省経済開発局石井課長来鹿	
9. 7.30		MBCジョージア州親善交流中高生31名が州政府を表敬訪問

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
9. 9.		県職員を語学研修のためジョージア大学へ派遣(3か月)
9.10.		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
10. 7.		MBCジョージア州親善交流中高生14名が州政府を表敬訪問
10. 8.		県職員を語学研修のためジョージア大学へ派遣(4か月)
10. 8.		伊集院高校教諭を日本語教師としてアトランタへ派遣(20か月)
10.11.		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
10.11.		吉留史郎出納長一行(3名)が、「第8回日米草の根交流サミットジョージア大会」に参加。カードーサ商務長官を表敬訪問
11. 7.	ジョージア州出身CIRエンジニアキ・マイルズ来鹿	
11. 7.21	ジョージア州商務省経済開発局石井課長来鹿	
11. 7.25		MBCジョージア州親善交流中高生10名が州政府を表敬訪問
11. 8. 1		主事を語学研修のためにジョージア大学へ派遣(5か月)
11. 8. 5		「世界に飛び出せ！鹿児島キッズ・アドベンチャー」(学校教育課)に小中学生25名が参加。州政府を表敬訪問
11. 9. 7		ジョージア大学との交流20周年記念事業に、田中弘允鹿大学長ら8名が参加
11.11. 9		「世界へ羽ばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
11.11.15	ジョージア大学農学部ブキャナン教授、カネマス教授来鹿	
12. 7.19 (2000)	ジョージア州商務省経済開発局石井課長来鹿	
12. 7.23		MBCジョージア州親善交流中高生10名が州政府を表敬訪問

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
12. 8. 2		「世界に飛び出せ！鹿児島キッズ・アドベンチャー」(学校教育課)に小中学生25名が参加。州政府を表敬訪問
12. 8. 7		県職員を語学研修のためにジョージア大学へ派遣(5か月)
12. 8.		川内高校教諭を日本語教師としてアトランタへ派遣(20か月)
12.11. 7		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
13. 3.28	ジョージア州商務省経済開発局石井課長 来鹿	
13. 6.18	ジョージア州フルトン郡中学生一行(生徒20名, 引率3名)来鹿	
13. 6.27	ジョージア州商務省経済開発局石井課長 来鹿	
13. 7.24		MBCジョージア州親善交流中高生12名が州政府を表敬訪問
13. 7.27		県職員を語学研修のためにジョージア大学へ派遣(5か月)
13. 8. 9		「世界に飛び出せ！鹿児島キッズ・アドベンチャー」(学校教育課)に小中学生25名が参加。州政府を表敬訪問
13.10. 6	ジョージア州商務省R.K.シーガル長官一行4名が、姉妹盟約締結35周年記念事業で来鹿	
14. 2.13		「世界へはばたけ鹿児島の青年」(青少年女性課)で、10名が短期研修
14. 3.29	ジョージア州商務省経済開発局石井課長 来鹿	
14. 7.24		MBCジョージア州親善交流中高生8名が州政府を表敬訪問
14. 8. 3		錦江湾高校教諭を日本語教師としてアトランタへ派遣(20か月)
14.10.18	ジョージア州商務省経済開発局石井課長 来鹿	
15. 7.25		MBCジョージア州親善交流中高生11名が州政府を表敬訪問

(注)◎は、知事の訪問

訪問年月日	ジョージア州	鹿児島県
15. 8.14	ジョージア州商務省経済開発局石井課長 来鹿	
16. 7.24		MBCジョージア州親善交流中高生(10名)が州 政府を表敬訪問
16. 7.25		中種子高校教諭を日本語教師としてアトランタへ 派遣(20か月)
18.7.25 (2006)		加治木高校教諭を日本語教師としてアトランタへ 派遣(20か月)
19.5.23	西ジョージア大学学長代理来鹿・副知事表 敬	鹿児島大学との大学間学術交流協定締結
19.11.5	ジョージア州ロータリークラブ5名県内研修・ ホームステイ・知事表敬	
20.7.4	ジョージア州商務省ケン・スチュワート長官 一行4名が来鹿	
30.6.4	ジョージア工科大学外国語学科講師・学生 計22名県内視察・県庁訪問	
30.10.23	ジョージア大学から農・環境科学部長一行 が鹿大学長を表敬訪問	
令和元.8.2 (2019)		◎三反園訓知事一行(9名)が、ジェフ・ダンカン・ ジョージア州副知事を表敬訪問し、姉妹盟約に係 る確認書に調印・取り交わし



## (7) 英国との交流

本県と英国とは、江戸時代の末期、1865年4月に「オースタライエン号」でいちき串木野市羽島を出航した薩摩藩の留学生が英国で学び、帰国後、外交、実業、教育等の分野を中心に我が国の近代化に大きな役割を果たすなど、歴史的に深い関係を有している。

このような背景から、薩摩藩英国留学生派遣から150周年に当たる平成27（2015）年、県と留学生ゆかりの4市（鹿児島市、阿久根市、いちき串木野市、伊佐市）は、公募した青少年を英国に派遣する「英国留学生派遣150周年記念 薩摩スチューデント派遣事業」を実施した。

また、我が国の近代化の始まりである明治維新（1868年）から150周年を迎えた平成30（2018）年7月、知事が県議会議長等と英国を訪問し、薩摩藩英国留学生が学び、現在も同留学生に関する学籍簿が保管され、記念の石碑が設置されているユニバーシティ・カレッジ・ロンドン（UCL）があるロンドン・カムデン区及び日本近代化に大きく貢献した集成館事業のために、五代友厚らが木綿紡績機械購入と紡績技師派遣の契約を行った地であるマンチェスター市との間で、友好協定を締結した。

### ※ 令和元年度交流実績

- ・ 薩摩スチューデント（県内高校生3名、引率者1名）派遣
- ・ マンチェスター市長鹿児島訪問
- ・ ロンドン・カムデン区長鹿児島訪問
- ・ ロンドン・カムデン区の青少年（15～16歳5名、引率者1名）受入

### ※ 平成30年度交流実績

- ・ 明治維新150周年記念 薩摩スチューデント（県内高校生等19名）派遣



① ロンドン・カムデン区の概要

面積：21.8 km<sup>2</sup>

人口：262,200人（2018年）

特徴：グレーター・ロンドン内の33の市区（基礎自治体）の中の一つ。ファッションの発信地「カムデンタウン」、大英博物館、ロンドン動物園、グーグル英国本社を擁する。英国北部への長距離列車の起点となるユーストン駅、ユーロスターの始発駅となるセント・パンクラス駅を擁する。

主な産業：ビジネスサービス業（知識経済、コンサルタント業、企業の本社機能）、  
ビジターエコノミー（観光業等）

資料提供：（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所

② マンチェスター市の概要

面積：115.7 km<sup>2</sup>

人口：541,300人（2016年）

特徴：ロンドンから電車で約2時間、イングランドの北西部に位置する英国有数の大都市圏「グレーター・マンチェスター」を構成する10の自治体の一つで、産業革命の際に中心的な役割を果たした都市として世界中にその名を知られる。

サッカープレミアリーグの「マンチェスターユナイテッド」と「マンチェスターシティ」といったサッカー強豪クラブの本拠地、音楽の文化が充実した街としても有名。

主な産業：ビジネス支援、健康産業、教育、小売業、宿泊業、輸送業、倉庫、金融・保険業

資料提供：（一財）自治体国際化協会ロンドン事務所

③ 英国概要

面積：24.3万 km<sup>2</sup>（日本の3分の2）

人口：6,600万人（2017年）

日英関係：1600年に英国人航海士ウィリアム・アダムス（三浦按針）が、豊後（現在の大分県）にオランダ船で漂着して以来、約400年以上にわたる交流の歴史を有し、第二次世界大戦前後の一時期を除き、両国は良好な二国間関係を維持している。

1858年の日英修好通商条約締結により外交関係を開設し、2018年には、外交関係開設160周年を迎えた。

主要産業：自動車、航空機、電気機器、エレクトロニクス、化学、石油、ガス、金融

域内総生産：約2兆8286億米ドル（2018年）

資料：外務省ホームページ「国・地域」  
JETROホームページ「英国概況」

④ 英国との交流状況

ア 経済交流

(7) 「うんまか鹿児島輸出商談会」への英国バイヤーの招へい

- ・ 実施年度：平成29年度（1社）、令和元年度（1社）

## イ 観光交流

### (7) 英国旅行エージェント招請

- ・ 実施年度：平成29年度
- ・ 内容：訪日旅行専門会社の商品作成者を鹿児島に招請し、県内の視察を実施

### (イ) 在京欧米プレス招請

- ・ 実施年度：平成29年度、令和元年度
- ・ 内容：英国をはじめとする欧米系の在京プレスを招請し、県内観光素材の取材を実施

### (ウ) 東京・九州連携事業による英国市場向け観光PR

- ・ 実施年度：平成29年度、平成30年度、令和元年度
- ・ 実施主体：東京・九州連携外国人旅行者誘致推進協議会
- ・ 内容：英国人ライター及び在京英字メディアの招請及び英国現地新聞等メディアへの記事掲載

### (エ) 英語圏向けfacebook「Kagoshima Travel Guide」による観光情報発信

- ・ 実施年度：平成30年度から継続実施

### (オ) 英国セールス

- ・ 実施年度：平成30年度
- ・ 内容：英国現地の旅行会社等に観光セールスを実施

### (カ) 南九州3県(鹿児島県、熊本県、宮崎県)連携による英国メディアを活用した観光PR

- ・ 実施年度：平成30年度、令和元年度
- ・ 実施主体：南九州広域観光ルート連絡協議会
- ・ 内容：英国現地のメディア(雑誌、ウェブ等)に南九州3県周遊の魅力の記事を掲載

## ウ 青少年・教育・スポーツ交流

### (7) 薩摩スチューデント派遣事業

- ・ 実施年度：平成元年度、27年度、30年度、令和元年度
- ・ 実施主体：県国際交流協会(H元)、薩摩スチューデント派遣事業実行委員会(H27)、明治維新150周年プロジェクト実行委員会(H30)、鹿児島県(R1)
- ・ 内容：留学生足跡訪問、表敬訪問、英国青少年との交流、ホームステイ、UCLサマープログラム参加 等

### (イ) 学びにUK

- ・ 実施年度：平成27年度～
- ・ 実施主体：県立甲南高校
- ・ 内容：ホームステイ、現地の高校生との交流、世界最高峰の大学院生(オックスフォード大、ケンブリッジ大)の研究の場の体験 等

### (ウ) 英国青少年の受入

- ・ 実施年度：令和元年度～
- ・ 実施主体：鹿児島県
- ・ 内容：県内視察(歴史体験、文化体験)、学校訪問(学校体験)、ホームステイ(生活体験) 等

## エ 芸術文化交流

### (ア) フォーラムの開催

- ・ 実施年度:平成28年度, 29年度
- ・ 実施主体:NPO法人日英友好協会(明治維新150周年かごしま文化力向上提案事業)
- ・ 内容:基調講演, フォーラム(平成27年度「薩摩スチューデント」派遣青少年もパネリストとして参加)

### (イ) 黎明館企画展

- ・ 実施年度:平成10年度, 平成17年度, 平成27年度
- ・ 実施主体:鹿児島県歴史資料センター黎明館
- ・ 内容:鹿児島医学の父 ウィリアム・ウィリスの足跡(H10), 薩摩藩英国留学生(H17), 幕末薩摩の留学生(H27)

### (ウ) カムデン区「鹿児島展」

- ・ 実施年度:令和元年度
- ・ 実施主体:ロンドン・カムデン区
- ・ 内容:鹿児島の地理的位置・概要, カムデン区と鹿児島との歴史的つながり 等

## オ JETプログラム参加者の英国からの受入れ

- (ア) 英国出身のJETプログラム参加者:21名(令和元年8月末現在)  
(令和元年度より, マンチェスター出身のCIRを国際交流課(国際交流協会)へ配置)

## カ 行政間交流

### (ア) マンチェスター市長鹿児島訪問

- ・ 実施年月日:平成31年4月24日～28日
- ・ 実施主体:鹿児島県
- ・ 内容:県内視察, 薩摩スチューデントとの意見交換会 等

### (イ) ロンドン・カムデン区長鹿児島訪問

- ・ 実施年月日:令和元年10月22日～27日
- ・ 実施主体:鹿児島県
- ・ 内容:県内視察, 薩摩スチューデントとの意見交換会 等

### 3 市町村の姉妹・友好都市提携状況

令和2年3月現在、20市町が、世界の26地域と姉妹・友好盟約を結び様々な交流が行われているほか、語学指導等を行う外国青年の招致、青少年の海外派遣など活発な活動が行われている。

市町村	提携先	提携年月日	締結の契機
鹿児島市	ナポリ市 (イタリア)	S35. 5. 3	ナポリ湾に望むベスビオ火山を有するナポリ市と錦江湾に浮かぶ桜島を有する鹿児島市とは、風景が似通っており、鹿児島市は「東洋のナポリ」とも呼ばれていたことなどから姉妹都市盟約が締結された。
	パース市 (オーストラリア 西オーストラリア州)	S49. 4. 23	パース市が南緯32度に位置し「ひかりの街」と呼ばれるのに対し、北緯32度に位置し「太陽と緑の街」と呼ばれる鹿児島市はともに気候が温暖で、民間交流が盛り上がる中で姉妹都市盟約が締結された。
	長沙市 (中華人民共和国 湖南省)	S57. 10. 30	鹿児島市は中国大陸に近く、鑑真和上や遣唐使船など歴史的関係も深いことから、中国との交流を求める気運が高まり、昭和56年11月に市の各界代表が中国の各都市を訪問するなど、中国との友好を深めていった。こうした中、長沙市から友好都市盟約締結の申し入れがあり、先遣視察団が鹿児島市を訪れるなど交流が深まり、友好都市盟約が締結された。
	マイアミ市 (アメリカ合衆国 フロリダ州)	H 2. 11. 1	両都市はそれぞれ日米両国の南端に位置し海外への玄関として機能し、気候も温暖であるなど類似点が多いことから姉妹都市盟約が締結された。
阿久根市	台南市善化区 (台湾)	H30. 4. 27	阿久根ロータリークラブと台湾台南市善化区のロータリークラブとの交流を機縁とし、台南市善化区側から友好交流協定締結の話があり、平成29年、善化ロータリークラブ創立25周年記念式典時に「友好交流協定締結に向けての合意書」の取り交わしが行われ、平成30年に友好交流協定の締結に至った。

出水市	すん ちよん し 順天市 (大韓民国 全羅南道)	H24. 11. 1	出水市と順天市は、平成15年に順天市長が出水市長を表敬訪問したことをきっかけに交流が始まり、平成21年9月には「日本国出水市と大韓民国順天市におけるツル保護等のための友好交流に関する協定書」を締結した。また、平成22年10月には、「順天湾祭り」へ出水市長が招待され出席する等交流が継続されてきたが、今後、さらに幅広い交流を推進するため、姉妹都市盟約協定を締結するに至った。
	ぶーりー ちん 埔里鎮 (台湾南投県)	H29. 5. 31	以前から、埔里鎮にある国立暨南（キナン）国際大学付属高校と出水中央高校とで音楽を通じた交流がなされていたことから、平成28年7月、台北駐福岡経済文化弁事処長から、埔里鎮を紹介された。平成28年8月に出水市長が埔里鎮を表敬訪問し、平成29年2月には埔里鎮長等15人が出水市を訪問し、トップ会談を行い、姉妹都市盟約締結に向けての合意書にサインがなされた。平成29年5月出水市及び市議会関係者15人が埔里鎮を訪問し、5月31日に調印式を行った。
指宿市	ロックハンプトン市 (オーストラリアクイーンズランド州)	S55. 11. 21 H18. 8. 6 (指宿市合併後再提携)	オーストラリア・クイーンズランド州知事が本市を訪れた際、本市の地勢、豊かな風土等が大変好感をよび、同州の観光圏域の中心で、しかも人口や行政規模等の類似しているロックハンプトン市を候補に挙げ、交流を働きかけたのが始まりであり、姉妹盟約が締結された。
西之表市	ヴィラ・ド・ビスポ市 (ポルトガル共和国)	H5. 10. 1	鉄砲伝来450周年を契機に、ポルトガル共和国の特定市と姉妹盟約を結び交流を図ることの気運が市民に高まり、駐日ポルトガル大使館の協力を得て大航海時代を拓いたサグレス号ゆかりの地であるヴィラ・ド・ビスポ市との間で姉妹盟約の調印を行った。
薩摩川内市 (旧川内市)	常熟市 (中華人民共和国江蘇省)	H 3. 7. 26 H17. 4. 15 薩摩川内市として再提携	地域の国際化と重要港湾川内港の高度利用を図るため、約850kmの近い距離にある中国上海市近郊の港湾都市・常熟市と1985年以来視察団やスポーツ交流団を相互派遣するなど友好交流が深まり、両市の相互発展を期して友好都市盟約が締結された。

(旧入来町)	<small>ま る ち ん</small> 馬陸鎮 ※戩浜鎮(じんはんちん)から名称変更(H13) (中華人民共和国 上海市嘉定区)	H 7. 8. 20 H14. 8. 19 馬陸鎮と再提携 H17. 4. 14 薩摩川内市として再提携	旧入来町に立地している企業が、平成6年(1994年)、上海市戩浜鎮に合弁会社を設立したことをきっかけとして相互交流が始まり、友好交流協議書の締結に至った。 平成13年に戩浜鎮は馬陸鎮に吸収合併されたため、平成14年8月に馬陸鎮と友好交流樹立協議書の調印が行われた。
	<small>ちやんによん</small> 昌寧郡 (大韓民国慶尚南道)	H24. 5. 16	平成11年の川内大綱引400年祭に、韓国昌寧郡の親善訪問団が参加したのをきっかけに交流が始まり、以後民間レベルでの交流を継続してきたが、さらに幅広い交流を推進するため、友好都市盟約を締結した。
日置市	スバンジャヤ市 (マレーシア スランゴール州)	H24. 10. 29	旧吹上町において、「からいも交流」をきっかけにマレーシアと交流が始まり、平成13年には吹上町マレーシア交流実行委員会が設立されるなど交流が続けられてきたが、平成22年に在日マレーシア大使が日置市を訪問し、友好都市提携を強く希望されたことなどから、友好都市協定を締結することになった。
霧島市 (旧霧島町)	ソノラ市 (アメリカ合衆国 カリフォルニア州)	H12. 7. 24	中高生を同市へホームステイに派遣し、1997年からは国際交流員を置くなど語学教育や国際交流に力を入れてきたが、今回人口もほぼ同規模で自然国立公園を持つなどの共通点を有する同市との姉妹都市盟約が締結された。
(旧隼人町)	耀州区 ※耀県から名称変更(H14) (中華人民共和国 陝西省)	H 7. 10. 23	平成5年「緑の遣唐使」により桜の木を植林し、翌平成6年、開花に伴い招聘を受けたのを契機として交流が始まり、友好関係合意書の締結に至る。
	瀏陽市 (中華人民共和国 湖南省)	H19. 10. 19	平成16年に京セラの招待で北京の中日友好協会会長、瀏陽市副市長らが旧国分市を訪問。その御礼状と共に招待状が届いたため旧国分市長らが瀏陽市を訪問、友好都市提携を視野に入れての交流を開始。相互訪問等を経て、霧島市長との間で「友好交流関係の構築に関する協議書」の調印がなされた。

いちき串木野市 (旧串木野市)	サリナス市 (アメリカ合衆国カリフォルニア州)	S54. 5. 27 H17. 4. 14 いちき串木野市として再提携	昭和30年～昭和31年に串木野市の住民がサリナス市に農業移住者として渡航しており、これを契機に両市民の間での交流が深まり、姉妹都市盟約が締結された。
南さつま市 (旧加世田市)	宿遷市 (中華人民共和国江蘇省)	H14. 10. 27 H16. 10. 16 南さつま市として再提携	平成8年に江蘇省と友好交流を行っている鹿児島県から友好交流の話があり、市において「加世田市国際交流推進協議会」が組織され、相互訪問を開始。平成10年から中国の国際交流員を招致するなど、交流が深まり、友好都市盟約締結に至る。
奄美市	ナカドゥチェス市 (アメリカ合衆国テキサス州)	H 7. 4. 26	名瀬市に設置した奄美看護福祉専門学校とアメリカ合衆国テキサス州のステファン・F・オースチン大学の学校間姉妹盟約締結を契機に、同大学があるナカドゥチェス市から名瀬市と姉妹盟約を締結したい旨の申し入れがあり、両市間の調印に至った。
南九州市 (旧川辺町)	淳昌郡 (大韓民国全羅北道)	H15. 4. 15	川辺町教育委員会が青少年交流の相手先について、鹿児島県に相談したところ、鹿児島県が韓国全羅北道と交流を進めていること、当時の県の国際交流員が全羅北道淳昌郡の出身であったこと、淳昌郡の地形・気候・産業構造などが川辺町に類似していることなどから淳昌郡を推薦され、交流が行われるようになり、友好交流協定締結に至った。
伊佐市 (旧大口市)	南海郡 (大韓民国慶尚南道)	H3. 10. 16 (H21. 5. 16) 伊佐市として再提携	観光関連助成事業として、十曾青少年旅行村に夏の開村期間に咲く花をということで「ムクゲ」を植栽した。その後「ムクゲ」が韓国の国花であることから、国際化時代に向け韓国との交流を進めることとし、韓日議員連盟を通じて南海郡を紹介され、姉妹都市盟約が締結された。
長島町	吉祥面 (大韓民国仁川広域市江華郡)	H 6. 5. 30	韓国本土と江華大橋で結ばれた江華島中にある吉祥面、黒之瀬戸大橋で九州本土と結ばれた長島町。このように、「橋を渡る町」という地理的に共通した要因をもつことをきっかけに相互交流が始まり、姉妹盟約が締結された。



南大隅町	庄行鎮 (中華人民共和国 上海市)	H20. 1. 22	平成15年に合併前の旧・佐多町で民間レベルの交流が始まったのがきっかけとなり、平成20年1月に中国の現地で南大隅町長も出席して、産業・文化・教育など、幅広い分野で交流を進めることとし、友好都市交流の協定書の締結に至った。
徳之島町 天城町 伊仙町	<small>ちよん ど ぐん</small> 清道郡 (大韓民国 慶尚北道)	H15. 3. 14	徳之島、清道郡の闘牛大会を通して交流が始まり、平成14年全国闘牛サミットの開催が徳之島町に決定したことから、奄美群島交流事業の一環として「日韓闘牛文化交流の夕べ in 徳之島」を開催し、郡守をはじめオンヌリ芸術団を招待したことから、さらに交流が深まり、友好協定書の締結に至った。
和泊町	望牛トン鎮 (中華人民共和国)	H 9. 8. 1	1996年8月、中国広東省在住の和泊町出身実業家の「国際交流によるまちづくりが和泊町の未来を開く。21世紀は中国の時代と言われるので、経済交流を中心とした交流を進める適地がある」と東莞市望牛トン鎮の紹介があり、町議会や国際交流協会等と協議し、96年10月第1回訪中団を派遣した。96年12月には中国側の訪問団を受入れ、友好交流関係樹立に合意した。97年3月に第2回訪中団を派遣し、97年8月の和泊町での調印日程について合意し、調印式が行われた。
与論町	ミコノス市 (ギリシャ)	S59. 11. 14	与論町を世界の観光・行楽地作りするために「海と観光の町同志として、国際親善を深めると共に町づくりの参考にするため」ギリシャ大使館を通じて申し入れを行ったもので、姉妹盟約が締結された。

- ※ 旧桜島町の米国カリフォルニア州リポン市との友好都市盟約(昭和61年締結)は、鹿児島市との合併(H16. 11. 1)を機に終了。
- ※ さつま町(旧宮之城町)と中華人民共和国浙江省安吉県との姉妹都市盟約(平成11年締結)は平成17年の合併・新町誕生後は姉妹都市関係の再締結は行われず、事実上の提携解消となった。
- ※ 南大隅町(旧根占町)とギニア共和国コヤ県は、平成2年に姉妹盟約を締結するも、交流実績がなく、平成20年度に事実上の提携解消となった。
- ※ 南九州市(旧穎娃町)と中国杭州市西湖郷の友好協力盟約は、平成19年度の市町村合併に伴い解消した。
- ※ 天城町とフィリピン共和国シライ市は、平成2年に姉妹都市盟約を締結するも、交流実績がなく、平成29年度に事実上の提携解消となった。

4 在留外国人数

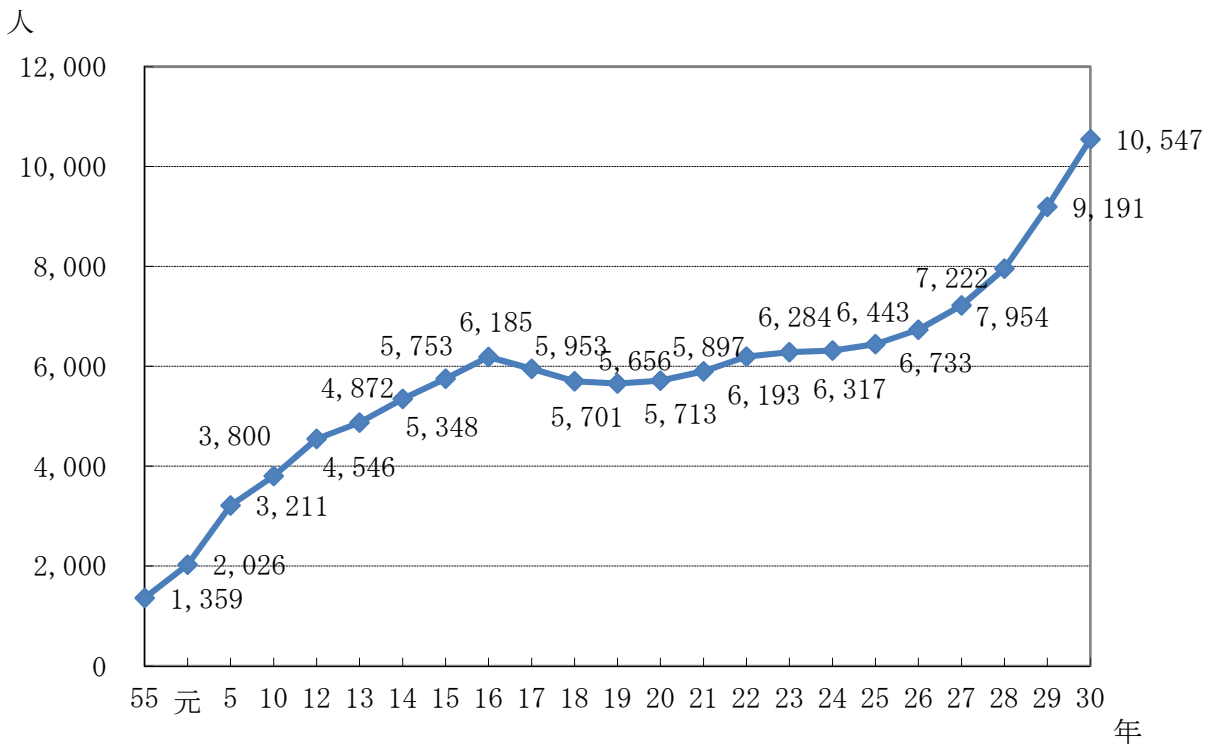
(1) 地域・国籍別在留外国人数

平成30年12月末現在

地域	登録国名称	人数	地域	登録国名称	人数
アジア	アフガニスタン	10	アフリカ	ベナン	5
	ミャンマー	88		エリトリア	5
	バングラデシュ	51		ガーナ	1
	カンボジア	109		コートジボワール	3
	スリランカ	25		ケニア	3
	中国	2,180		モーリタニア	1
	台湾	204		モロッコ	1
	東ティモール	1		マラウイ	2
	インド	31		ナイジェリア	5
	インドネシア	331		タンザニア	9
	イラン	2	チュニジア	1	
	イスラエル	2	ウガンダ	1	
	韓国	513	南アフリカ共和国	8	
	朝鮮	31	エジプト	10	
	ラオス	2	小計	55	
	マレーシア	30	北米	バハマ	4
	モンゴル	14		カナダ	46
	ネパール	251		コスタリカ	2
	パキスタン	52		キューバ	1
	フィリピン	2,018		ドミニカ共和国	2
シリア	2	エルサルバドル		1	
シンガポール	5	ホンジュラス		2	
タイ	91	ジャマイカ		4	
トルコ	5	メキシコ		6	
ベトナム	3,636	パナマ		3	
小計	9,684	米国	285		
ヨーロッパ	アルバニア	1	小計	356	
	オーストリア	2	南米	アルゼンチン	9
	ベルギー	2		ボリビア	4
	ブルガリア	2		ブラジル	88
	ベラルーシ	3		コロンビア	1
	チェコ	1		エクアドル	1
	デンマーク	5		ガイアナ	1
	フランス	37		パラグアイ	3
	ドイツ	22		ペルー	23
	ギリシャ	2		ベネズエラ	2
	ハンガリー	1		小計	132
	アイルランド	7	オセアニア	オーストラリア	37
	イタリア	11		フィジー	4
	ラトビア	1		ミクロネシア	4
	オランダ	9		ニュージーランド	18
	ノルウェー	1		パプアニューギニア	4
	ポーランド	12		ソロモン	3
	ポルトガル	1		バヌアツ	1
	ルーマニア	8		小計	71
	ロシア	6		無国籍	9
スペイン	9	合計(94か国・地域)		10,547	
スウェーデン	6				
スイス	2				
英国	83				
ウクライナ	5				
スロバキア	1				
小計	240				

※ 法務省「在留外国人統計」より

(2) 在留外国人数の推移  
(63年度までは3月末, 平成元年～30年は12月末)



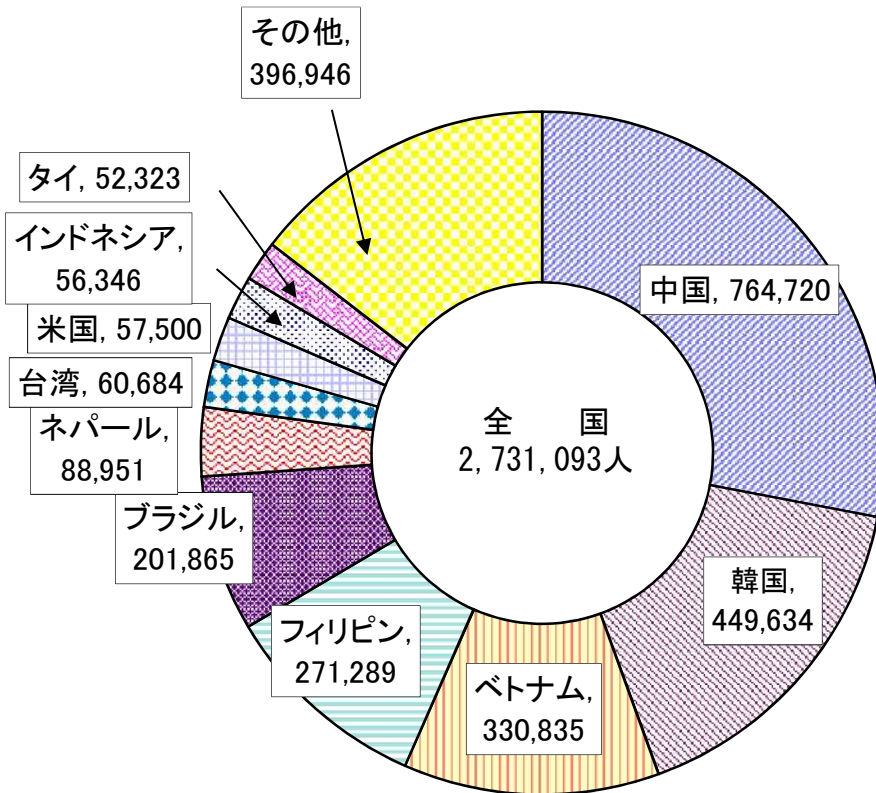
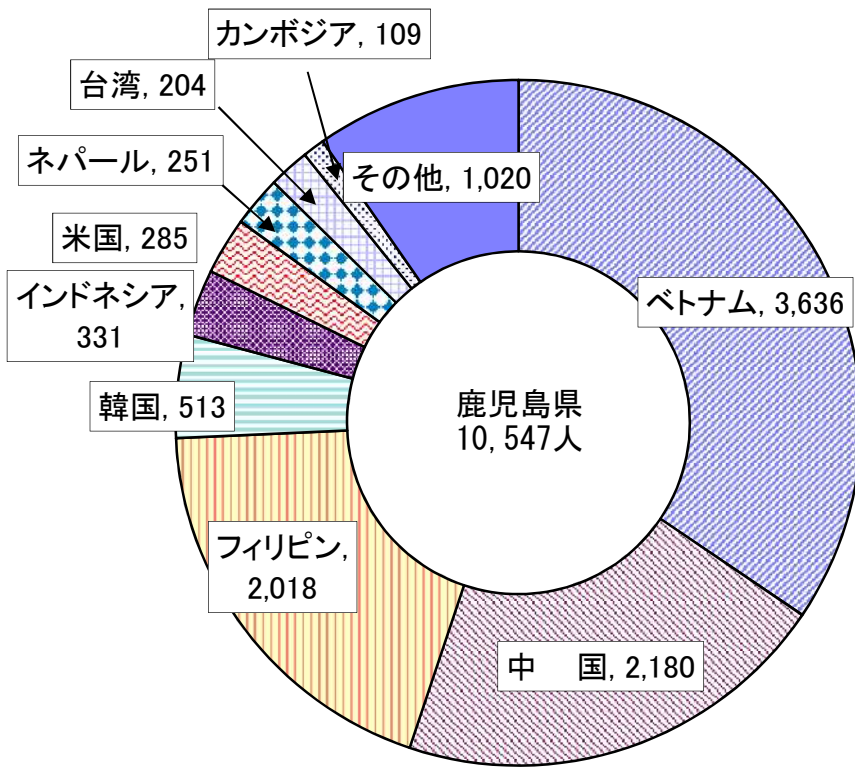
(注)平成23年までは外国人登録者数, 平成24年以降は在留外国人数を掲載しており, それぞれの対象範囲が異なるため, 単純に数値を比較することはできません。

(3) 都道府県別在留外国人数(平成30年12月末現在)

都道府県	人数	都道府県	人数	都道府県	人数
北海道	36,899	石川	15,455	岡山	28,158
青森	5,786	福井	15,114	広島	52,134
岩手	7,187	山梨	16,073	山口	16,591
宮城	21,614	長野	36,526	徳島	6,073
秋田	3,975	岐阜	55,205	香川	12,597
山形	7,367	静岡	92,459	愛媛	12,038
福島	14,191	愛知	260,952	高知	4,580
茨城	66,321	三重	52,087	福岡	76,789
栃木	41,648	滋賀	30,155	佐賀	6,452
群馬	58,220	京都	61,022	長崎	10,369
埼玉	180,762	大阪	239,113	熊本	15,576
千葉	156,058	兵庫	110,005	大分	12,951
東京	567,789	奈良	12,681	宮崎	6,621
神奈川	218,946	和歌山	6,676	鹿児島	10,547
新潟	17,285	鳥取	4,654	沖縄	18,025
富山	18,556	島根	9,274	未定・不詳	1,537
				計	2,731,093

※法務省「在留外国人統計」より

(4) 鹿児島県及び全国の国籍別在留外国人数(平成30年12月末)



5 外国青年招致事業(JETプログラム)による外国青年の配置状況

(単位:人, 令和元年9月末現在)

職 種	任用団体名	H26	H27	H28	H29	H30	R1
CIR (国際交 流員)	鹿児島県	4	4	4	4	4	4
	鹿児島市	3	3	3	3	3	3
	鹿屋市	1	1	1	1	1	2
	西之表市	—	—	—	—	—	1
	薩摩川内市	1	1	1	1	1	1
	日置市	2	2	2	2	2	2
	霧島市	3	3	3	3	3	3
	いちき串木野市	—	—	—	1	1	1
	南さつま市	1	1	1	1	1	1
	奄美市	—	—	—	—	1	1
	湧水町	1	1	1	1	1	1
	肝付町	—	—	1	1	1	1
小 計		16	16	17	18	19	21
ALT (外国語 指導助)	鹿児島県教育委員会	38	38	38	38	38	38
	鹿児島市教育委員会	21	21	21	21	21	21
	鹿屋市教育委員会	4	3	3	3	1	—
	枕崎市教育委員会	1	1	1	1	1	1
	阿久根市教育委員会	1	1	—	—	1	1
	出水市教育委員会	1	2	3	3	4	4
	指宿市教育委員会	2	2	2	2	2	2
	西之表市教育委員会	1	1	1	1	2	2
	垂水市教育委員会	1	1	1	1	1	—
	薩摩川内市教育委員	7	7	7	7	4	4
	日置市教育委員会	4	4	4	4	4	4
	曾於市教育委員会	2	2	2	2	2	2
	霧島市教育委員会	5	5	5	5	5	5
	いちき串木野市教育委員会	1	1	1	1	2	2
	南さつま市教育委員	2	2	2	2	3	3
	志布志市教育委員会	3	3	3	3	3	3
	奄美市教育委員会	1	1	1	1	4	4
	南九州市教育委員会	3	3	3	3	3	1
	三島村教育委員会	—	—	—	—	1	2
	十島村教育委員会	—	—	—	—	5	7
	さつま町教育委員会	2	2	2	2	2	2
	湧水町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	東串良町教育委員会	1	1	1	1	—	—
	南大隅町教育委員会	1	1	—	—	—	—
	肝付町教育委員会	2	1	1	1	1	1
	中種子町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	南種子町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	屋久島町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	瀬戸内町教育委員会	1	1	1	1	1	2
	喜界町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	徳之島町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	天城町教育委員会	1	1	1	1	1	1
	伊仙町教育委員会	1	1	1	1	1	1
和泊町教育委員会	1	1	1	1	1	1	
与論町教育委員会	—	—	—	—	—	—	
小 計		114	113	112	112	120	120
合 計		130	129	129	130	139	141

## 6 留学生の受入状況

### (1) 国費・私費等別留学生数【県内在住者】

(単位:人, 令和元年5月1日現在)

大 学 名	国 費	外国 政府 派遣	県 費	私 費	その他	合計
鹿児島大学	52	11	3	254	8	328
鹿屋体育大学	1	0	0	7	0	8
鹿児島国際大学	0	0	0	121	6	127
第一工業大学	0	0	0	92	0	92
志学館大学	0	0	0	8	0	8
鹿児島純心女子大学	0	0	0	6	0	6
鹿児島県立短期大学	0	0	0	3	0	3
鹿児島女子短期大学	0	0	0	11	5	16
鹿児島工業高等専門学校	2	4	0	0	0	6
合 計	55	15	3	502	19	594

## (2) 国籍別・大学別留学生数【県内在住者】

(単位:人, 令和元年5月1日現在)

地域	国名	鹿児島	鹿屋	鹿児島	第一	志学館	鹿児島	鹿児島	鹿児島	鹿児島	合計
		大学	体育大学	国際大学	工業大学	大学	純心 女子大学	県立 短大	女子 短大	工業高等 専門学校	
アジア	ミャンマー	1									1
	Bangladesh	8	1		2						11
	中国	144	2	118	53	2		3			322
	台湾	13	1	4	4	2	5		5		34
	インドネシア	15									15
	韓国	48	2	3		2					55
	マレーシア	6								3	9
	モンゴル				1					2	3
	ネパール	4			18				1		23
	パキスタン				1						1
	フィリピン								1		1
	タイ	3									3
	ベトナム	37		2	11	2	1		9		62
	トルコ	2									2
	カンボジア									1	1
スリランカ				2						2	
ラオス	1									1	
小計	282	6	127	92	8	6	3	16	6	546	
ヨーロッパ	フランス	5									5
	ドイツ	3									3
	スペイン	1									1
	ギリシャ		1								1
	ブルガリア	1									1
	ラトビア	1									1
	小計	11	1	0	0	0	0	0	0	0	12
アフリカ	マラウイ	2									2
	タンザニア	5									5
	エジプト	1									1
	ガーナ	1									1
	ベナン	3									3
	小計	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
北米	アメリカ合衆国	4									4
	小計	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
中南米	アルゼンチン		1								1
	バハマ	1									1
	ブラジル	4									4
	ガイアナ	1									1
	ペルー	1									1
	小計	7	1	0	0	0	0	0	0	0	8
オセアニア	オーストラリア	5									5
	ソロモン諸島	3									3
	バブアニューギニア	1									1
	バヌアツ	1									1
	フィジー	2									2
	小計	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
合計	39カ国・地域	328	8	127	92	8	6	3	16	6	594

※ 県内在住者のみ。

※ 地域の区別は、法務省「在留外国人統計」に準ずる。







(4) 県費留学生の受入状況

県費留学生とは、鹿児島県から海外に移住した人たちの子弟を県内の大学に留学させ、母県の実態を周知させるとともに、本県と移住先国との緊密化に貢献する人材を育成するための制度です。

① 県費留学生受入実績

(単位:人)

年度	ブラジル			アルゼンチン			ペルー			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
S45からS56	4	13	17		4	4	1	2	3	5	19	24
S57	1	1	2		1	1			0	1	2	3
58		2	2		1	1			0	0	3	3
59	1	1	2	1		1		1	1	2	2	4
60	1	1	2			0		1	1	1	2	3
61	1	1	2		1	1		1	1	1	3	4
62	1	1	2		1	1			0	1	2	3
63	1	1	2		1	1		1	1	1	3	4
H1	1	1	2	1		1			0	2	1	3
2		2	2		1	1	1		1	1	3	4
3	1	1	2			0		2	2	1	3	4
4	1	1	2	1		1		1	1	2	2	4
5	1	1	2			0		1	1	1	2	3
6	1	2	3	1		1			0	2	2	4
7		2	2		1	1		1	1	0	4	4
8		2	2			0		2	2	0	4	4
9	2		2			0			0	2	0	2
10	1	1	2	1		1	1		1	3	1	4
11		2	2			0			0	0	2	2
12		2	2			0		1	1	0	3	3
13		3	3		1	1			0	0	4	4
14		1	1			0	1		1	1	1	2
15		2	2		1	1		1	1	0	4	4
16		2	2	1		1			0	1	2	3
17	1	1	2			0	1		1	2	1	3
18	2	1	3			0			0	2	1	3
19	1		1			0		1	1	1	1	2
20		1	1		1	1			0		2	2
21	1		1			0			0	1		1
22		2	2			0			0		2	2
23		2	2			0			0		2	2
24		1	1			0	1		1	1	1	2
25	1		1			0	1		1	2	0	2
26		2	2			0	1		1	1	2	3
27	1	1	2			0		1	1	1	2	3
28	1	1	2			0		1	1	1	2	3
29		2	2			0	1		1	1	2	3
30	1	1	2			0	1		1	2	1	3
R1(H31)	1	1	2			0		1	1	1	2	3
合計	28	62	90	6	14	20	10	19	29	44	95	139

② 令和元年度(平成31年度)県費留学生

国籍	性別	受入先
ブラジル	男	鹿児島大学工学部
	女	鹿児島大学共同獣医学部
ペルー	女	鹿児島大学法文学部

(注) 現在まで、全員鹿児島大学に留学している。



### (2) 海外技術研修員受入機関状況

(注) 中国江蘇省からの受入人数累計26人(平成3年度から平成30年度)

受入機関/年度	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	計			
工技センター			1			1		1									2	1															1							10		
農業開発総合センター																																								1		
農試	1	1	2	3	2	1	1	1	1	2	1	1										1																	20			
果試										1							2																						4			
蚕試	2																																						2			
畜試	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1																		18			
養鷄	1	1																																					2			
林試							2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1		1													4				
水試																																							10			
栽培漁業センター																		1																					2			
環境保全課													1																										1			
衛生研究所												1																											1			
保健所																						1																	1			
児童総合相談センター													1																										1			
整備圏																																							1			
鹿屋医療センター																								1															1			
教育センター												1											1																3			
都市計画課											1																												1			
建築課											1																												1			
職業訓練校	1	1								1	1	1	1												1														4			
水産校	1	1								1	1	1	1																										2			
農業大学校											1	1	1	1	1	1	1																						1			
農政博													1	1	1	1	1																						2			
博物館																																								1		
県立短期大学																																								1		
肉用牛改良研究所																																								0		
農業改良普及所																2	1	1	1	1	1	1																8				
県立図書館																							1																	2		
県立視聴覚センター																1	1	1	1	1	1	1																2				
フラワーセンター																	1																						1			
ハイト研究所																																							1			
環境センター																																							0			
県警察本部																																								0		
計	3	3	4	5	4	7	5	4	6	5	8	7	6	8	5	1	4	4	4	2	2	1	2	2	4	2	1	0	2	0	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	110
鹿児島大学																																								0		
市町村										1	2	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	27		
雇用促進事業団																																								5		
漁業共同組合	1																																						0			
民間専門学校													1	1	1	2	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	23				
民間企業	3	3	3	1	1											1	2	1	4	6	3	2	5	3	3	2	2	2	3	3	2	1	2	1	2	1	2	1	70			
民間幼稚園																																							1			
県歯科医師会																																								1		
市医師会																																								1		
合計	7	6	7	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	10	11	11	11	10	9	9	8	8	8	6	4	4	4	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	240			

8 鹿児島県からの青年海外協力隊員派遣状況

(単位:人, 令和元年8月末現在)

地域	派遣人員累計				左記のうち現在派遣されている隊員の内容(短期を含まず)				業種別隊員数
	国名	隊員数	男	女	隊員数	男	女		
ア ジ ア	フィリピン	35	30	5	1		1	助産師	
	カンボジア	10	5	5	0				
	マレーシア	17	8	9	0				
	インド	4	3	1	1	1		コミュニティ開発	
	ラオス	14	7	7	2		2	コミュニティ開発, 体育	
	ネパール	39	18	21	1	1		上水道	
	Bangladesh	27	17	10	0				
	バキスタン	2	0	2	0				
	ベトナム	10	3	7	1		1	障害児・者支援	
	スリランカ	24	15	9	0				
	タイ	18	11	7	0				
	モルディブ	6	3	3	1		1	日本語教育	
	中国	18	7	11	0				
	インドネシア	15	7	8	2	1	1	水泳, 環境教育	
	ブータン	8	4	4	1		1	障害児・者支援	
	モンゴル	10	4	6	0				
	ウズベキスタン	1	0	1	0				
	キルギス	6	1	5	1		1	青少年活動	
	東ティモール	3	2	1	1		1	看護師	
小計 19か国	267	145	122	12	3	9			
大 洋 州	マーシャル	6	2	4	0				
	トンガ	6	4	2	0				
	サモア	13	8	5	0				
	ソロモン諸島	12	4	8	2	1	1	体育, 看護師	
	バプアニューギニア	9	9	0	2	2		理学療法士, 観光	
	バヌアツ	4	2	2	0				
	フィジー	8	3	5	0				
	パラオ	2	0	2	0				
	ミクロネシア	1	0	1	0				
	キリバス	2	1	1	1	1		船舶機関	
小計 10か国	63	33	30	5	4	1			
北 米 中 南 米	ホンジュラス	23	11	12	0				
	エルサルバドル	11	5	6	0				
	コスタリカ	8	5	3	0				
	パラグアイ	25	7	18	1		1	小学校教育	
	ペルー	16	8	8	1		1	栄養士	
	ボリビア	12	7	5	0				
	ドミニカ共和国	15	11	4	0				
	コロンビア	6	2	4	0				
	グアテマラ	12	5	7	1		1	廃棄物処理	
	エクアドル	13	10	3	1		1	幼児教育	
	メキシコ	4	0	4	0				
	ニカラグア	4	1	3	0				
	パナマ	11	3	8	1	1		数学教育	
	ジャマイカ	6	3	3	1		1	小学校教育	
ベリーズ	3	1	2	0					
セントルシア	17	4	13	2	1	1	水産開発		
ベネズエラ	3	2	1	0					
チリ	2	1	1	0					
ドミニカ	1	1	0	0					
小計 19か国	192	87	105	8	2	6			
中 東	モロッコ	22	10	12	0				
	エジプト	4	0	4	0				
	チュニジア	9	4	5	0				
	シリア	10	4	6	0				
	イエメン	1	1	0	0				
	ヨルダン	9	8	1	2	2		日本語教育, 理学療法士	
	小計 6か国	55	27	28	2	2	0		
ア フリ カ	ケニア	35	23	12	0				
	エチオピア	18	12	6	4		4	小学校教育, 幼児教育, 理科教育	
	タンザニア	30	21	9	0				
	ガーナ	30	22	8	1		1	障害児・者支援	
	マラウイ	37	23	14	1		1	コミュニティ開発	
	ウガンダ	13	7	6	3	2	1	コミュニティ開発, 体育	
	ザンビア	30	17	13	4	2	2	理科教育, 小学校教育, コミュニティ開発	
	リベリア	3	3	0	0				
	セネガル	19	10	9	2	1	1	数学教育, サッカー	
	ニジェール	13	8	5	0				
	ブルンジ	1	0	1	0				
	コートジボワール	8	2	6	0				
	ボツワナ	7	6	1	0				
	ジンバブエ	3	1	2	0				
	ブルキナファソ	5	1	4	0				
	ガボン	4	2	2	1	1		柔道	
	モザンビーク	5	3	2	1	1	1	コミュニティ開発	
	ジブチ	2	0	2	1		1	理科教育	
	南アフリカ共和国	2	2	0	0				
	スーダン	4	1	3	0				
	マダガスカル	2	1	1	0				
	ベナン	3	1	2	0				
	ルワンダ	3	1	2	0				
	カメルーン	4	1	3	0				
	マリ	1	1	0	0				
	ナミビア	1	1	0	1	1		小学校教育	
小計 26か国	283	170	113	19	8	11			
欧 州	ブルガリア	4	2	2	0				
	ポーランド	2	2		0				
	ハンガリー	4	4		0				
	ルーマニア	2	1	1	0				
小計 4か国	12	9	3	0	0	0			
合計 84か国	872	471	401	46	19	27	31か国に派遣中		

## 9 海外鹿児島県人会

海外在住の鹿児島県出身者が中心となって設立された鹿児島県人会は、令和元年6月現在、世界20か国・地域に27団体あります。

また、鹿児島県出身者だけでなく、現地の鹿児島ファンの方々も含めたアジアかごしまクラブは、香港、シンガポール、韓国全羅北道の3か国・地域にあります。

各団体では、会員同士の交流会や各種イベント等を通じ、鹿児島との情報交換や現地で鹿児島のPRを行うなど、鹿児島県出身者・関係者間の親睦を深めています。



		国・地域	名称	
鹿児島県人会	1	北米	南加鹿児島県人会	
	2		北カリフォルニア鹿児島県人会	
	3		ハワイ鹿児島県人会	
	4		シアトル鹿児島県人倶楽部	
	5		ニューヨーク鹿児島県人会	
	6	中南米	ブラジル	ブラジル鹿児島県人会
	7		アルゼンチン	アルゼンチン鹿児島県人会
	8		パラグアイ	パラグアイ鹿児島県人会
	9		ペルー	ペルー鹿児島県人会
	10		ドミニカ	ドミニカ鹿児島県人会
	11	アジア	韓国	ソウル薩摩会
	12		中国	北京さつま会
	13			上海鹿児島県人会
	14		深圳鹿児島県人会	
	15		香港	香港鹿児島県人会
	16		台湾	台湾鹿児島県人会

		国・地域	名称	
鹿児島県人会	17	タイ	タイ国鹿児島県人会	
	18	マレーシア	マレーシア鹿児島県人会	
	19	シンガポール	シンガポール薩摩会	
	20	インドネシア	ジャカルタ鹿児島県人会	
	21	アジア	ミャンマー	ミャンマー鹿児島県人会
	22		ベトナム	鹿児島県人会ハノイ
	23		インド	ホーチミン鹿児島県人会
	24	フィリピン	ムンバイ大都市圏鹿児島県人会	
	25	マニラ	マニラ鹿児島県人会	
	26	ヨーロッパ	フランス	在フランス鹿児島県人会
27	イギリス		UK薩摩藩	
アラマクラブ	①	香港	香港かごしまクラブ	
	②	シンガポール	かごしまクラブシンガポール	
	③	韓国	全羅北道かごしまクラブ	

## 10 (公財) 鹿児島県国際交流協会

### (1) 概要

公益財団法人鹿児島県国際交流協会は、県民の交流・協力推進のため、県・市町村・財界の協力を得て設立された公益法人である。

平成2年1月に自治大臣から国際交流を推進するにふさわしい中核的国際交流組織である「地域国際化協会」の認定を受けるとともに、同年7月には「国際交流プラザ」の管理・運営を県から委託されている。また、平成24年4月には、鹿児島県の認定を受けて公益財団法人へ移行した。

同協会は、情報収集・提供等による国際理解の推進、海外や在住外国人との交流、国際交流団体との連携・支援、国際交流ボランティアの登録等による国際交流活動の展開、在住外国人と日本人との相互理解・異文化交流等による多文化共生社会の推進、留学生への支援や国際協力機関等との連携等による国際協力の推進など、様々な活動を行っている。

#### ① 設置の目的

鹿児島と諸外国との交流や地域レベルの国際交流並びに国際協力を積極的に推進するとともに、国際理解を深め、国際性豊かな地域社会づくりに寄与する。

#### ② 名称等

公益財団法人 鹿児島県国際交流協会

会 長 三反園 訓 (鹿児島県知事)

理事長 津曲 貞利 (鹿児島経済同友会代表幹事)

#### ③ 所在地

〒892-0816

鹿児島市山下町14-50 かがしま県民交流センター1階

TEL : 099-221-6620, FAX : 099-221-6643

#### ④ 事業内容

##### ア 国際理解の推進

施設の運営及び情報収集提供機能の拡充、広報出版活動の充実、国際理解事業の推進

##### イ 国際交流活動の展開

海外との相互交流の推進、在住外国人との交流促進、国際交流組織の連携・支援の強化、国際交流ボランティア制度の拡充、旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり

##### ウ 多文化共生の推進

在住外国人と日本人の相互理解の促進、異文化交流の促進

## エ 国際協力の推進

留学生への支援, 国際協力に対する理解の促進, 国際協力機関等との連携

### ⑤ 組織の沿革

昭和2年9月	鹿児島県海外移住組合設立 (昭和25年4月1日 組合廃止)
昭和30年2月1日	鹿児島県海外協会設立 (任意団体)
11月5日	財団法人鹿児島県海外協会設立
昭和62年4月27日	財団法人鹿児島県国際交流協会に名称・目的変更
平成2年1月	自治大臣から「地域国際化協会」に認定
7月	鹿児島商工会議所ビルに国際交流プラザ設置
平成6年4月	アジア・太平洋農村研修センター開館
平成15年4月	国際交流プラザかごしま県民交流センターに移転
平成24年4月	公益財団法人鹿児島県国際交流協会へ移行



(2) 国際交流協会事業

1	事業名 (事業主体)	国際交流プラザの運営	開始年度 平成2年度
	事業概要	(施設の運営及び情報収集提供機能の充実)「国際交流プラザ」の運営について、県の委託を受けて県民や在住外国人等をはじめ関係団体等に幅広く利用されるよう各種サービスの提供を行う。	
	平成30年度実績	入館者数：15,821名、会議室利用件数：224件	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在)入館者数：15,761名、会議室利用件数：204件	
2	事業名 (事業主体)	インターネットによる情報収集提供機能の充実	開始年度 平成10年度
	事業概要	(施設の運営及び情報収集提供機能の充実)インターネットによる情報収集に加え、ホームページにより協会事業等の案内を行う。	
	平成30年度実績	日本語、英語、中国語、韓国語のホームページの各種情報の随時更新を行い、県民及び在住外国人にインターネットにより様々な情報を提供した。	
	令和元年度実績 (計画を含む)	日本語、英語、中国語、韓国語のホームページの各種情報の随時更新を行い、県民及び在住外国人にインターネットにより様々な情報を提供する。	
3	事業名 (事業主体)	国際交流プラザのサービス機能の充実	開始年度 平成2年度
	事業概要	(施設の運営及び情報収集提供機能の充実)ライブラリーの整備・図書類の整備・利用促進	
	平成30年度実績	図書類：2,111冊、ビデオ・DVD：189巻 外国新聞：4紙、外国雑誌：4紙 語学学習・異文化理解等に役立つ図書等の収集・充実を図り、閲覧サービスを行う。また、外国語新聞・雑誌等も閲覧に供する。	
	令和元年度実績 (計画を含む)		
4	事業名 (事業主体)	国際交流プラザのサービス機能の充実	開始年度 平成2年度
	事業概要	(施設の運営及び情報収集提供機能の充実)情報提供サービスの推進	
	平成30年度実績	県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め、国際理解の増進を図った。	
	令和元年度実績 (計画を含む)	県民向け並びに在住外国人向け情報提供サービスの充実に努め、国際理解の増進を図る。	
5	事業名 (事業主体)	国際交流プラザのサービス機能の充実	開始年度 平成2年度
	事業概要	(施設の運営及び情報収集提供機能の充実)相談機能の充実	
	平成30年度実績	在住外国人からの相談等に応じる相談員を配置し、相談機能の充実に努めた。	
	令和元年度実績 (計画を含む)	在住外国人からの相談等に応じる相談員を配置し、相談機能の充実に努める。	
6	事業名 (事業主体)	日本語情報誌「暖流」の発行	開始年度 平成5年度
	事業概要	(施設の運営及び情報収集提供機能の充実)県内の国際交流活動情報を盛り込んだ県民向けの日本語情報誌発行	
	平成30年度実績	年1回、2,300部発行	
	令和元年度実績 (計画を含む)	年1回、2,300部発行予定	

7	事業名 (事業主体)	英文情報誌「South Wing」の発行	開始年度 平成1年度
	事業概要	(広報出版活動の充実) 県内在住の外国人を対象に鹿児島県の日常的に必要な情報を提供する。	
	平成30年度実績	年1回, 800部発行	
	令和元年度実績 (計画を含む)	年1回, 800部発行予定	
8	事業名 (事業主体)	「国際交流ひろば」の発行	開始年度 平成12年度
	事業概要	(広報出版活動の充実) 県民向けイベント情報誌	
	平成30年度実績	毎月1回, 各600部	
	令和元年度実績 (計画を含む)	毎月1回, 各600部発行	
9	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成15年度
	事業概要	(国際理解の推進) 県国際交流員等による文化講座等	
	平成30年度実績	CIR文化紹介講座 実施回数: 7回 参加者人数: 延べ169名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) CIR文化紹介講座 実施回数: 4回 116名	
10	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成21年度
	事業概要	(国際理解の推進) 在住外国人による公募型国際理解講座の開催	
	平成30年度実績	実施回数: 4回, 参加者総数: 延べ129名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 公募型国際理解講座 実施回数: 2回	
11	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成4年度
	事業概要	(国際理解の推進) ランチタイム・イングリッシュ・クラブの開催	
	平成30年度実績	24回/年 (毎週金曜日開催)	
	令和元年度実績 (計画を含む)	毎週金曜日開催 (令和2年2月末現在) 26回	
12	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成22年度
	事業概要	(国際理解の推進) 中国語ランチタイムトークの開催	
	平成30年度実績	33回/年 (毎週火曜日開催)	
	令和元年度実績 (計画を含む)	毎週火曜日開催 (令和2年2月末現在) 21回	
13	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成23年度
	事業概要	(国際理解の推進) 韓国語ランチタイムトーク	
	平成30年度実績	40回/年 (毎週水曜日開催)	
	令和元年度実績 (計画を含む)	毎週水曜日開催 (令和2年2月末現在) 34回	

14	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成24年度
	事業概要	(国際理解の推進)「来て、見て、知って!」国際理解ミニ講座	
	平成30年度実績	実施回数：4回，参加者総数：延べ171名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在)実施回数：4回，参加者数：延べ9名	
15	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成24年度
	事業概要	(国際理解の推進)「英語絵本のよみかたり」講座	
	平成30年度実績	実施回数：12回，参加者数：延べ304名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在)実施回数：7回，参加者数：延べ167名	
16	事業名 (事業主体)	文化講座等の開催	開始年度 平成24年度
	事業概要	(国際理解の推進)一般向け国際理解講座「鹿児島と世界を考える」国際理解講座	
	平成30年度実績	実施回数：2回，参加者数：延べ275名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在)実施回数：9回，参加者数：延べ104名	
17	事業名 (事業主体)	国際理解教材の整備・貸出	開始年度 平成2年度
	事業概要	(国際理解の推進)国際理解，国際交流，国際協力等に資する地域の国際化を目的とした事業等の実施者に対して，民族衣装や国旗，地図等の貸出を行うとともに，その整備・充実を図る。	
	平成30年度実績	民族衣装：13回，国旗：13回，地図：1回	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在)民族衣装：11回，国旗：9回，地図：0回	
18	事業名 (事業主体)	国際理解プログラム事業 (「協力隊OBと留学生が先生～見える・学べる・世界の国々～」事業実行委員会)	開始年度 平成7年度
	事業概要	(国際理解の推進)協力隊OBと留学生が先生事業の一環として，青年海外協力隊鹿児島県OB会と鹿児島県青年海外協力隊を支援する会とともに県内の小・中学校に留学生及び協力隊OBを講師として派遣する。 ※(公財)鹿児島県国際交流協会は，実行委員会構成団体として参加	
	平成30年度実績	実施回数：38回，参加者総数：2,519名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在)実施回数：36回，参加者数：2,649名	

19	事業名 (事業主体)	海外派遣交流の推進 (鹿児島県青少年国際協力体験事業実行委員会)	開始年度 平成2年度
	事業概要	(海外との相互交流の促進) 青少年国際協力体験事業の一環として、青年海外協力隊鹿児島県OB会及び鹿児島県青年海外協力隊を支援する会と連携し、アジアにおける国際協力の現場を体験させるため、県内の中・高校生等を海外に派遣する。 ※(公財)鹿児島県国際交流協会は、実行委員会構成団体として参加	
	平成30年度実績	派遣国：スリランカ民主社会主義共和国 派遣時期：平成30年7月25日～8月1日、派遣人数：15名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	派遣国：カンボジア王国 派遣時期：令和元年7月21日～7月28日、派遣人数：15名	
20	事業名 (事業主体)	海外派遣交流の推進	開始年度 平成2年度
	事業概要	(海外との相互交流の促進) 留学相談、交流推進員等による留学相談を実施する。	
	平成30年度実績	相談件数：9件	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 相談件数：9件	
21	事業名 (事業主体)	海外派遣交流の推進	開始年度 平成11年度
	事業概要	(海外との相互交流の促進) ワーキングホリデー促進への協力	
	平成30年度実績	相談件数：6件	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 相談件数：1件	
22	事業名 (事業主体)	海外派遣交流の推進	開始年度 平成21年度
	事業概要	(海外との相互交流の促進) 本県と交流のある韓国全羅北道について、県民の方々に韓国の全羅北道の魅力を知っていただく良い機会と捉え今後の交流が広がるよう期待し、県内の文化団体等を派遣する。	
	平成30年度実績	派遣時期：平成30年10月24日～28日、派遣人数：9名(協会職員除く。)	
	令和元年度実績 (計画を含む)	派遣時期：令和元年10月29日～11月2日、派遣人数：6名(協会職員除く。)	
23	事業名 (事業主体)	広域的受入事業	開始年度 平成20年度
	事業概要	(海外との相互交流の促進) 大学生の受入 本県と交流のある香港の日本語学習を希望する大学生等に対し、日本語及び日本文化学習の機会を提供し、本県と友好国・地域との交流促進を図る。	
	平成30年度実績	受入時期：平成30年7月10日～29日 香港城市大学専上学院日本語研修：学生11名受入 (日本語学習、ホームステイ、視察、日本文化体験(着付け・日本料理等)、大学生との交流などを実施)	
	令和元年度実績 (計画を含む)	受入時期：令和元年7月9日～28日 香港城市大学専上学院日本語研修：学生10名受入 (日本語学習、ホームステイ、視察、日本文化体験(着付け・日本料理等)、大学生との交流などを実施)	

24	事業名 (事業主体)	国際交流活動の促進	開始年度 平成2年度
	事業概要	(在住外国人との交流促進) 市町村・企業・団体等が在住外国人との交流活動を行う場合、企画立案等の相談に応じるとともに、共催や後援の形で必要な協力を行う。	
	平成30年度実績	後援件数：12件	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 後援件数：11件	
25	事業名 (事業主体)	地域国際交流促進事業	開始年度 平成25年度
	事業概要	(在住外国人との交流促進) 在住外国人に県内各地で開催される国際交流イベント等に関する情報を提供し、参加を働きかける取り組みを通じ、県民と在住外国人との交流促進を図る。	
	平成30年度実績	実施回数：2回 MBC夏祭り：平成30年7月25日～26日 日置市：平成30年12月9日	
	令和元年度実績 (計画を含む)	実施回数：2回予定 MBC夏祭り：令和元年7月24日～25日 日置市：令和元年12月8日	
26	事業名 (事業主体)	民間団体の国際交流・協力活動への助成	開始年度 平成2年度
	事業概要	(国際交流組織の連携・支援の強化) 県内の民間団体が行う国際交流活動、県民の国際理解の推進を目的とする活動、地域レベルの国際交流・協力の推進を目的とする活動等に対し、助成金を交付する。	
	平成30年度実績	1団体：300千円	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 2団体	
27	事業名 (事業主体)	市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進	開始年度 平成1年度
	事業概要	(国際交流組織の連携・支援の強化) 共通の課題や問題を抱える市町国際交流協会や県内国際交流団体との意見交換会を開催し、問題解決のための方策の検討を行うとともに、ネットワーク作りを推進する。	
	平成30年度実績	市町村及び市町国際交流協会職員を対象とした講演会並びに意見交換会 実施日：平成30年9月14日	
	令和元年度実績 (計画を含む)	市町村及び市町国際交流協会職員を対象とした講演会並びに意見交換会 実施日：令和元年8月30日	
28	事業名 (事業主体)	市町村や市町国際交流協会・国際交流団体とのネットワークの推進	開始年度 平成23年度
	事業概要	(国際交流組織の連携・支援の強化) 国際交流団体等のネットワークの一助とするため「鹿児島県の国際交流・協力団体ダイレクトリー」を作成する。	
	平成30年度実績	県内の103団体の情報を協会ホームページに掲載した。	
	令和元年度実績 (計画を含む)	県内の103団体の情報を協会ホームページに掲載する。	

29	事業名 (事業主体)	ボランティア活動の拡充・促進	開始年度 平成2年度
	事業概要	(国際交流ボランティア制度の充実) 各種ボランティア登録者の拡大を図る。	
	平成30年度実績	登録者の状況 語学ボランティア：52名 ホストファミリーボランティア：32家庭	
	令和元年度実績 (計画を含む)	登録者の状況(令和2年2月末現在) 語学ボランティア：55名 ホストファミリーボランティア：31家庭	
30	事業名 (事業主体)	ボランティア活動の拡充・促進	開始年度 平成2年度
	事業概要	(国際交流ボランティア制度の充実) 協会の各種事業において、ボランティアの活動の機会を提供する。	
	平成30年度実績	語学ボランティア4名、ホストファミリーボランティア4家庭	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 語学ボランティア 0名、ホストファミリーボランティア 15家庭	
31	事業名 (事業主体)	旅券業務の遂行	開始年度 昭和62年度
	事業概要	(旅券発給業務補助を通じた海外交流等の環境づくり) 県の委託を受けて、かごしま県民交流センター内に設置されているパスポート窓口及び北薩地域振興事務所において、旅券の申請受付・作成・交付の業務を行う。	
	平成30年度実績	旅券交付件数 29,335件	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年1月末現在) 旅券交付件数 24,532件	
32	事業名 (事業主体)	在住外国人日本語教室	開始年度 平成16年度
	事業概要	(在住外国人と日本人の相互理解の促進) 県内に在住している外国人を対象に、日本語の研修を行い、生活の充実とコミュニケーションの円滑化を図る。	
	平成30年度実績	(1) 水曜午前クラス 開催時期：5月～2月、研修回数：30回、受講者数：18名 (2) 木曜夜間クラス 開催時期：5月～2月、研修回数：30回、受講者数：28名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(1) 水曜午前クラス 開催時期：5月～2月、研修回数：30回、受講者数：21名 (2) 木曜夜間クラス 開催時期：5月～2月、研修回数：30回、受講者数：27名	
33	事業名 (事業主体)	日本語サロンおしゃべりひろば	開始年度 平成16年度
	事業概要	(在住外国人と日本人の相互理解の促進) 日本語の日常会話が可能な在住外国人を対象にフリートキングを主な内容とする「おしゃべりひろば」を実施し、在住外国人同士のネットワーク構築や日本語会話の上達を図る。木曜日開催。	
	平成30年度実績	開催時期：5月～3月、研修回数：20回、受講者数：延べ126名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(前期) 開催時期：5月～7月、研修回数：5回、受講者数：延べ41名 (後期) 開催時期：9月～3月、研修回数：13回、受講者数：延べ97名	

34	事業名 (事業主体)	生活相談等	開始年度 平成2年度
	事業概要	(在住外国人と日本人の相互理解の促進) 関係機関・団体等と連携しながら、 各種の生活相談を行う。 (在住外国人の生活支援) 在住外国人等からの相談などに多言語で応じられる 外国人総合相談窓口を運営する。	
	平成30年度実績	199件(22件) ※( )は、外国人の相談数	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 362件(210件) ※( )は、外国人支援の相談数	
35	事業名 (事業主体)	相談・支援体制の充実	開始年度 -
	事業概要	(在住外国人と日本人の相互理解の促進) 交流推進員及び交流相談員を中心に、 外国人等の生活相談、国際交流に係る相談に適切に応じられるよう、職員の専 門知識の習得やカウンセリング技術の向上に努める。	
	平成30年度実績	交流推進員及び交流相談員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相 談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向 上に努めた。	
	令和元年度実績 (計画を含む)	交流推進員及び交流相談員を中心に、外国人等の生活相談、国際交流に係る相 談に適切に応じられるよう、職員の専門知識の習得やカウンセリング技術の向 上に努める。	
36	事業名 (事業主体)	多文化共生地域づくり事業の実践	開始年度 平成22年度
	事業概要	(在住外国人と日本人の相互理解の促進) 在住外国人を対象として、多文化共 生の地域づくりに資する講座・教室を開催する。	
	平成30年度実績	開催回数：2回、受講者数：57名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	開催回数：8回実施、受講者数：延べ241名	
37	事業名 (事業主体)	外国人による日本語スピーチコンテスト	開始年度 -
	事業概要	(異文化交流の促進) 各種国際交流団体と連携して県内在住外国人によるスピー チコンテストを開催し、県民との相互理解・国際交流を促進する。	
	平成30年度実績	予選：平成31年1月19日、出場者：38名 本選：平成31年1月26日、出場者：10名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	予選：令和2年1月11日、出場者：32名 本選：令和2年1月25日、出場者：10名	
38	事業名 (事業主体)	研究活動費の助成	開始年度 平成3年度
	事業概要	(留学生への支援) 一定の条件を満たす留学生の学会等への出席などの研究活 動を支援するため、助成を行う。	
	平成30年度実績	件数：3件、助成金額：88千円	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 件数：1件、助成金額：30千円	

39	事業名 (事業主体)	留学生の交流活動への助成	開始年度 平成5年度
	事業概要	(留学生への支援) 留学生会等が主催する国際交流・理解事業等に要する経費に対して助成する。(外国人留学生交流活動事業助成金, 留学生会等への支援, 東文子・外国人留生活活動等支援事業)	
	平成30年度実績	東文子・外国人留生活活動等支援事業: 1件, 0千円	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 東文子・外国人留生活活動等支援事業: 1件	
40	事業名 (事業主体)	留学生支援資金貸付制度	開始年度 平成10年度
	事業概要	(留学生への支援) 留学生が一時的・臨時的に多額の出費を必要とする場合に, 無利息で資金の貸付を行う。	
	平成30年度実績	貸付件数: 1件, 貸付額: 100千円	
	令和元年度実績 (計画を含む)	(令和2年2月末現在) 貸付件数: 0件	
41	事業名 (事業主体)	各大学等留学生担当者意見交換会	開始年度 平成18年度
	事業概要	(留学生への支援) 留学生に関する情報交換や支援のあり方等について, 各大学等留学生担当者との意見交換会を実施し, 連携を深める。	
	平成30年度実績	開催日: 平成30年4月25日, 参加人数: 23名	
	令和元年度実績 (計画を含む)	開催日: 令和元年4月24日, 参加人数: 21名	
42	事業名 (事業主体)	留学生のための生活ガイドブックの発行	開始年度 平成18年度
	事業概要	(留学生への支援) 日本語や日本の生活習慣等に不慣れな新入学の留学生が戸惑うことなく安心して鹿児島での生活を送ることができるようガイドブックを作成する。	
	平成30年度実績	内容の見直しを行い, ホームページ掲載(ダウンロード可)	
	令和元年度実績 (計画を含む)	内容の見直しを行い, ホームページ掲載(ダウンロード可) 3月予定	
43	事業名 (事業主体)	在外県人会の育成	開始年度 昭和62年度
	事業概要	グラフかごしま, 県政かわら版等を定期的に送付し郷土情報の提供を行う。	
	平成30年度実績	グラフかごしま等を26団体へ送付	
	令和元年度実績 (計画を含む)	グラフかごしま等を27団体へ送付	
44	事業名 (事業主体)	在外県人会の育成	開始年度 昭和62年度
	事業概要	(国際協力機関等との連携) 在外県人会が行う移住者の援護指導, 消息不明者の調査, 移住者の実態調査, 県人子弟の育成・指導, 母県との交流などの活動支援を県人会に委託する。	
	平成30年度実績	委託先: ブラジル鹿児島県人会, アルゼンチン鹿児島県人会, ペルー鹿児島県人会, パラグアイ鹿児島県人会	
	令和元年度実績 (計画を含む)	委託先: ブラジル鹿児島県人会, アルゼンチン鹿児島県人会, ペルー鹿児島県人会, パラグアイ鹿児島県人会	



## 11 鹿児島県国際交流プラザ

### ① 設置の目的

地域の国際化が進む中で、本県においても県内各地で様々な国際交流活動が活発に展開されているが、特に民間国際交流団体や在住・来県外国人にとって、活動や交流の場として気軽に利用できる施設の整備が望まれたことから、国際交流機能、情報機能等を有する中核施設として、平成2年7月、鹿児島商工会議所ビルに「国際交流プラザ」を設置した。その後、かごしま県民交流センターのオープンに伴い、平成15年4月同センター1階に移転した。

### ② 国際交流プラザの概要

#### ア 施設

- ・ 設置場所：かごしま県民交流センター1階
- ・ 内 容：事務室、相談室、交流サロン、展示コーナー、資料コーナー

#### イ 機能

- ・ 交流促進機能  
県民と外国人との交流、国際交流団体相互の交流
- ・ 情報提供・発信機能  
各種生活情報、海外情報等の提供（外国語新聞・雑誌、情報誌） など
- ・ 相談機能  
在住外国人等の生活相談、留学相談等
- ・ 研修機能  
外国語・文化講座等の実施

#### ウ 休館日等

- ・ 休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合、火曜日）  
年末年始（12月29日～翌年1月3日）
- ・ 開館時間：午前9時から午後5時まで

#### エ 運営

運営は（公財）鹿児島県国際交流協会へ委託

#### オ 連絡先

〒892-0816

鹿児島市山下町14-50 かごしま県民交流センター1階

TEL：099-221-6620, FAX：099-221-6643

E-mail：kia@kiaweb.or.jp

<http://www.kiaweb.or.jp/>

12 アジア・太平洋農村研修村

(1) アジア・太平洋農村研修村

民間レベルの国際交流・国際協力の実績を生かし、鹿児島県と鹿屋市が大隅湖周辺にアジア・太平洋農村研修村の整備を推進することとなり、県は平成6年4月に研修村の中核施設としてアジア・太平洋農村研修センターを、また、鹿屋市が平成9年5月に同センターの隣接地に民族館を開設した。

(2) アジア・太平洋農村研修センター

① 研修センターの施設

「アジア・太平洋農村研修センター」は「異文化交流」を基本コンセプトに異文化間コミュニケーション、人と人とのコミュニケーションの場としての機能を重視している。

研修センターの施設は管理棟、研修棟、宿泊棟からなり、それぞれが独自のユニークな設計になっている。研修棟は木造の日本建築、ホール棟をはさんでコンクリートづくりの洋建築の管理棟、ガラス張りの長い廊下に連結した東南アジアを思わせる宿泊棟、そして、ホールに洋と和が調和し、未来に夢を馳せる形をとっている。

- ・ 総事業費 1,272,184千円
- ・ 敷地面積 10,161.43㎡
- ・ 建物概要

区 分	内 容		面 積
管理棟	事務室, 会議室, 図書室		679.85㎡
研修棟	研修室3室(25人×2室, 15人×1室) 実習室1室		489.57㎡
宿泊棟	宿泊室	洋室27室(S10室, T17室) ＜44人収容可＞	1,624.03㎡
		和室2室(15畳, 17.5畳) ＜2室で28人収容可＞	
付属棟			217.81㎡
計			3,011.26㎡

- ・ 研修センターの休館日等

区 分	内 容
休 館 日	毎週月曜日, 12月29日から翌年1月3日まで
開館時間	午前9時から午後5時まで

- ・ 研修センターの使用料

区 分	内 容	
研 修 室	1室1時間までにつき 310円	
宿泊施設	洋室	1人1泊につき 2,400円
	和室	1人1泊につき 2,400円(大人) 1人1泊につき 620円(大学生以下)

・ 食事代等

区 分	料 金
食 事 代	1日につき1,640円 (朝食420円, 昼食560円, 夕食660円)
シーツ代	1回につき210円(シーツの取替えを希望する場合も同料金)

② 研修センターの管理・運営

研修センターの管理・運営は、鹿児島国際交流協力センターに委託している(指定管理者)。

③ 連絡先

〒893-0131

鹿児島県鹿屋市上高隈町3811-1

TEL : 0994-45-3288, FAX : 0994-45-3258

E-mail : info@kaptic.jp

http://kaptic.jp/

④ 平成30年度利用状況

平成30年度利用者数 : 12,452人 (研修団体数 : 221団体)

⑤ 平成30年度事業実績

ア 海外技術研修員日本語基礎研修

・ 研修期間 : 平成30年9月6日~10月26日

・ 人 員 : 3名

・ 内 容 : 日本語研修・日本文化研修・ホームステイ・交流会 等

イ 海外学生日本語・日本文化研修

受入大学	参加人数	実施期間
香港大学	18名	平成30年6月3日~6月12日
香港中文大学	18名	平成30年6月26日~7月6日
マカオ大学	12名	平成30年6月14日~6月23日
徳成女子大学校	19名	平成31年1月9日~1月18日
群山大学校	3名	平成31年1月21日~1月30日
全州大学校	6名	平成31年1月21日~1月30日

ウ 在住外国人(ALT・CIR)日本語・日本文化研修

・ 研修期間 : 平成30年8月21日~8月24日

・ 人 員 : 54名

・ 内 容 : 日本語研修・日本文化体験・学校教員との意見交換 等

⑥ その他自主事業

ア JICA青年研修事業等

・青年海外協力隊養成講座

受入対象	研修人数	実施期間
青年海外協力隊・シニア海外ボランティア説明会	23名	平成30年12月15日
青年海外協力隊派遣予定者技術補完研修	6名	平成30年5月26日～6月12日
〃	3名	平成30年9月2日～9月19日
〃	2名	平成30年11月18日～12月5日

・技術研修事業

受入対象	研修人数	実施期間
R D I（J I C A参加者 等で作るコンサルタント 会社）「農民参加による 農業，農村開発」	4名	平成30年11月5日～11月10日

・JICA青年研修

受入対象	研修人数	実施期間
アフリカ/地域保健医療	13名	平成30年10月12日～10月25日
ベトナム/体育教育	15名	平成31年1月12日～1月26日

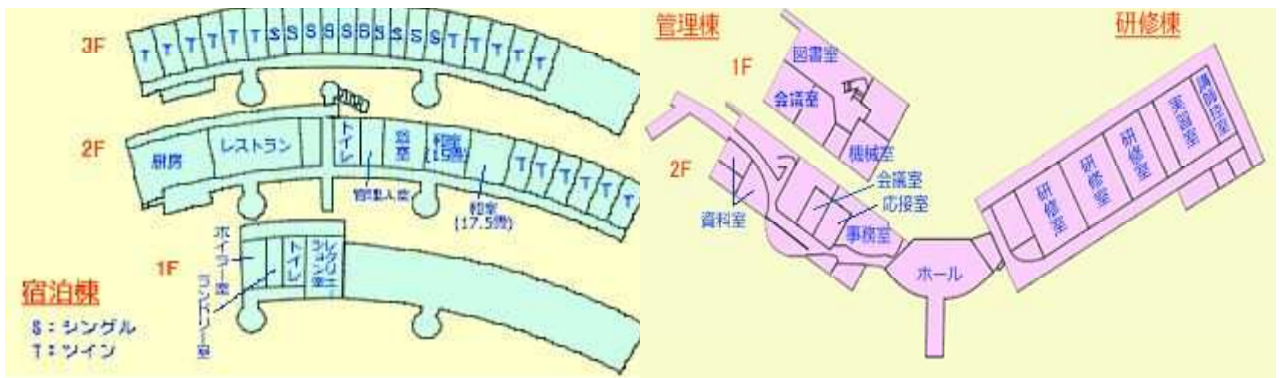
イ その他

- ・ 国際交流・国際協力事業：国際理解はじめの一步・多文化体験サロン 等
- ・ グローバル教育（人材育成）：グローバル塾，地域リーダー育成 等
- ・ 地域振興，地域づくり事業：地域振興，地域づくりの各種活動支援 等

⑦ 施設案内

ア 施設配置図





## イ 研修施設



研修室



図書室



実習室

## ウ 宿泊施設



和室



洋室



レクリエーション室

## エ 食事



レストラン